

令和5年度 第2回定時理事会 会 議 次 第

令和6年3月27日（水） 15時30分

新宿 NSビル 30階スカイカンファレンスルーム3・4

1 開 会

2 議事録署名人の選出

3 審 議 事 項

第1号議案 令和6年度事業計画及び予算について

第2号議案 常勤嘱託員設置要綱第5条第1項第5号に基づく承認について

第3号議案 常勤嘱託員設置要綱第6条第4項に基づく承認について

第4号議案 常勤役員の報酬年額について

第5号議案 一般法人法第84条第1項に基づく承認について

4 報 告 事 項

理事長及び常務理事の職務執行状況について

東京都スポーツ文化事業団及びデフリンピック準備運営本部におけるコンプライアンス委員会の活動状況報告について

経営理念について

東京2025デフリンピックロードマップについて

役員候補者選任に係る方針の検討状況について

5 そ の 他

6 閉 会

理 事 会
第 1 号 議 案

令和 6 年度事業計画及び予算について

下記のとおり議案を提出する。

記

1 議案内容

別添、令和 6 年度事業計画書及び予算書（案）のとおりとする。

令和 6 年 3 月 2 7 日

提 出 者 公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団
理 事 長 塩 見 清 仁

提 案 理 由

定款第 7 条第 1 項の規定及び理事会会議規程第 1 0 条第 1 項第 4 号の規定に基づき承認を求める。

令和 6 年度

事業計画書及び予算書

令和 6 年 3 月

公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団

目 次

《 事業計画書 》

I 事業の概要

- 1 目的及び事業の概要 3
- 2 令和6年度事業運営方針 3

II 事業別概要

- 1 公1事業(スポーツ活動等の振興、普及啓発に関する事業) 4
- 2 公2事業(2025年デフリンピック大会の準備・運営事業) 7
- 3 収益事業等 7
- 〈参考〉 事業体系 8

〈 附属明細書 〉

I 公1事業(スポーツ活動等の振興、普及啓発に関する事業)

- 1 スポーツ活動等に親しむ場の提供事業 12
- 2 スポーツ活動等に親しむことができる機会の提供事業 16
- 3 スポーツ国際交流事業を通じた次世代のスポーツ選手の育成 28

II 公2事業(2025年デフリンピック大会の準備・運営事業)

- 1 2025年デフリンピック大会開催に向けての準備・運営事業 29

III 収益事業等

- 1 令和6年度 各体育施設におけるスポーツ活動以外の主な予定 30
- 2 利用者サービス事業 30

《 予算書 》

- 令和6年度予算書(総括表) 34

令和6年度

事業計画書

I 事業の概要

1 目的及び事業の概要

都民の生涯にわたるスポーツ等の普及振興を図り、もって、都民の文化的生活の向上に寄与することを目的として、東京都スポーツ文化事業団は次の事業を行う。

- (1) スポーツ等の振興
- (2) 東京都及びその関係団体から受託するスポーツ等に関する事業
- (3) 東京都の施設等の管理運営
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- (5) 上記各項目の事業の推進に資するための収益事業等

2 令和6年度事業運営方針

世界中で猛威をふるった新型コロナウイルス感染症が収束し、スポーツ分野においてもかつての気運を取り戻しつつある中、スポーツに特化した団体である事業団は、その使命を着実に果たしていかなければならない。そこで東京2020大会を通じて得られたレガシーを次代に受け継ぐとともに、2025年デフリンピック大会の成功に向け着実に準備を進めていくなど、東京都の政策連携団体として、誰もがスポーツを楽しみ、スポーツの力を享受できる「スポーツフィールド・東京」の実現に向けて、更なる取組を推進していく。

当事業団が指定管理する都立スポーツ4施設については、指定管理者として蓄積してきたノウハウを最大限に生かして適切に管理運営していく。

また、スポーツ実施率の向上や大会レガシーの活用等を目的に実施している「スポーツ東京案内事業」においては、WEBサイト「SPOPITA」の拡充や指導者派遣を積極的に進めるなど、都民がいつでも気軽にスポーツを行うことができる環境整備を進めていく。併せて、専門的な知識や実践経験の豊富な事業者を活用し、今まで不足していたメディアリレーションを強化することで、当事業団の広報力の強化と認知度の向上を図っていく。

さらに、東京都の「TOKYO スポーツレガシービジョン」を踏まえ、都立スポーツ施設等の戦略的な活用を促進するため、都立スポーツ18施設について、一体的な広報や施設横断的なイベントの企画・調整、施設の利用案内などを実施していく。

その他、スポーツムーブメント醸成事業、国際交流事業などを引き続き効果的に展開するとともに、都立特別支援学校活用促進事業では、対象校を増やして実施し、パラスポーツの振興を図っていく。また、シニア世代の地域コミュニティにおける交流の促進を図るため、東京都シニア・コミュニティ交流大会を実施する。

加えて、当事業団は2025年に国内で初めて開催されるデフリンピックの準備・

運営の一部を担い、デフスポーツの普及啓発に寄与していく。

Ⅱ 事業別概要

1 公1事業（スポーツ活動等の振興、普及啓発に関する事業）

（1）スポーツ活動等に親しむ場の提供事業

- 東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館及び東京アクアティクスセンターについては、これまでに培ったノウハウを発揮しながら、安全の確保に取り組みつつ、東京のスポーツ振興を支える中核的施設として、指定管理コンソーシアムを組む団体等とともに充実したサービスの提供を図る。
- 東京体育館においては、「イオンカップ世界新体操クラブ選手権」、「柔道グランドスラム東京」等の国際大会のほか、「全国高等学校バスケットボール選手権大会」、「全日本バレーボール高等学校選手権大会」及び「天皇杯・皇后杯全日本卓球選手権大会」等、東京のスポーツの拠点としてふさわしい競技大会や行事の運営をサポートする。

区分	施設名	指定管理者	指定管理期間
体育施設	東京体育館	(公財) 東京都スポーツ文化事業団グループ	令和5年4月1日～令和10年3月31日
		代表団体：当事業団	
		(株) ティップネス	
		(株) オーエンス	
	駒沢オリンピック公園総合運動場	(公財) 東京都スポーツ文化事業団グループ	同 上
		代表団体：当事業団	
		(株) オーエンス	
		(一社) 東京都レクリエーション協会	
	東京武道館	(公財) 東京都スポーツ文化事業団グループ	同 上
		代表団体：当事業団	
		(株) ティップネス	
		(株) 東洋実業	
	東京アクアティクスセンター	事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ	同 上
		代表団体：当事業団	
		(株) オーエンス	
		セントラルスポーツ (株)	
		(公財) 東京都水泳協会	

- 健康体力相談事業は、新型コロナウイルス感染症等への対応を図りながら、一般社団法人渋谷区医師会の協力のもと、東京体育館において、「全身持久力測定」、「筋力測定」及び「栄養相談」を実施する。

（2）スポーツ活動等に親しむことができる機会の提供事業

- スポーツ振興事業は、東京都のスポーツ振興施策に基づき、子供から高齢者まで、また、障害の有無や体力の程度にかかわらず、だれもが生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツを楽しむことができるよう先導的・広域的な取組として 96 事業を実施する。
 - ・ 東京体育館「シニアのためのスポーツクリニック」、「パラスポーツ体験講座」、「スポーツボランティア入門講座」等 27 事業
 - ・ 駒沢オリンピック公園総合運動場「アスリートとのスポーツ交流体験」、「ジュニアサッカースクール」、「パラスポーツシンポジウム」等 14 事業

- ・ 東京武道館「親子武道体験」、「シニアのための武道体験」、「障害のある人のための武道体験」、「武道館で BUDO」等 34 事業
- ・ 東京アクアティクスセンター「オリンピック・パラリンピアンによる水泳教室」、「スイマーフォームクリニック」、「はじめての障害者スイミング・水泳ボランティアセミナー」等 21 事業
- 自主事業は、指定管理者として、各施設の特性を生かし 20 事業を実施する。
 - ・ 東京体育館「アスリートによるジュニアスポーツ未来塾」、「東京体育館卓球大会」等 10 事業
 - ・ 駒沢オリンピック公園総合運動場「3x3（バスケットボール）カップ」、「陸上記録会」等 6 事業
 - ・ 東京武道館「有名選手・指導者ふれあい事業」、「武道&茶道体験事業」等 4 事業
- 周辺連携事業は、地域の魅力向上や活性化に寄与していくため、周辺施設や地域と連携し、51 事業を実施する。
 - ・ 東京体育館「国立競技場大規模イベントとの連携」、「神宮外苑地区ウォーキングイベントへの協力」等 16 事業
 - ・ 駒沢オリンピック公園総合運動場「アーバンスポーツ初心者講習会」、「防災フェスタ」等 7 事業
 - ・ 東京武道館「東綾瀬公園との広報連携」、「スポーツの日における近隣地区との連携」等 12 事業
 - ・ 東京アクアティクスセンター「ニュースポーツイベント」、「子供ヨット体験」等 16 事業
- スマイル自主事業は、都民がスポーツを楽しむきっかけづくりや、多様な団体との連携、スポーツを通じた地域貢献などを目的とし、「島しょ地区スポーツ・文化普及事業」等の事業を実施する。

広報活動では、事業団のマスコットキャラクター「SUSIE（スージー）」を活用し、都民にとってより親しみやすく分かりやすい情報発信に取り組む。また、事業団広報誌を年 4 回発行するほか、リニューアルした事業団ホームページの更なる充実や Instagram、X（旧 Twitter）等 SNS による情報発信により、アクセシビリティの向上を図る。
- スポーツムーブメント醸成事業として、スポーツ実施率の向上や東京 2020 大会のレガシーの活用等を目的に実施している「スポーツ東京案内事業」を更に充実させ、WEB サイト「SPOPITA」におけるスポーツ施設検索システムの改良やスポーツイベント等の情報量拡充による利便性向上に加え、SNS 等により積極的な情報発信を行っていく。さらには、多種多様なメニューを提供することで、区市町村等に対する指導者派遣を積極的に進めていく。併せて、メディアリレーション及び広報戦略の知見を有する民間の戦略広報アドバイザーと連携し、当事業団の広報力の強化と認知度向上を図っていく。

また、東京2020大会の開催がもたらしたスポーツ気運の高まりを引き継ぐ「スポーツ気運継承事業」を引き続き実施し、「SPOPITA」と連動した取組として、当事業団、都、区市町村等が実施する複数のスポーツイベント等への参加を促進するキャンペーン「SPOPITA スタンプラリー」を展開する。

都民の健康づくりや東京都におけるスポーツ実施率の向上を目的として、当事業団が主体となって実施している「スポーツフェスタ」や「TOKYO ウォーク」を引き続き行っていく。

また、障害のある方やパラスポーツ団体等が、身近な地域でスポーツ活動ができるよう、都立特別支援学校をパラスポーツの拠点の一つとして活用する「都立特別支援学校活用促進事業」は、対象校を33校に増やして引き続き実施する。

さらに、企業におけるスポーツの取組に対する意欲やスポーツ実施率の向上に寄与することを目的として、引き続き、「スポーツ推進企業 Enjoy Sports 促進事業」を都と共催で実施する。

当事業団の指定管理施設を含む、都立スポーツ施設の予約等が一体的に行える「東京都スポーツ施設予約システム」の管理・運用を適切に実施する。

ハード面のレガシーである都立スポーツ施設においては、スポーツを観戦し応援する気運の継続及び「スポーツフィールド・東京」の実現を図るため、施設で開催される大会等を撮影・配信する「都立スポーツ施設映像配信システム」の構築・運営を都と共同で実施する。

また、シニア世代による地域コミュニティ等での交流を促進する「東京都シニア・コミュニティ交流大会」を実施する。

- 都立スポーツ施設連携促進事業については、「SPOPITA」を活用し、都立スポーツ施設の広告動画の作成や写真素材の充実等により、都立スポーツ施設の発信力を強化する。また、引き続きコンシェルジュ窓口を運営し、利用者ニーズに対応していくとともに、都立スポーツ施設で展開するアーバンスポーツ体験プログラムを通じた一体的な取組などにより、各施設のネットワークを活かしたスポーツ振興を図っていく。
- スポーツの日記念事業については、東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館及び東京アクアティクスセンターにおいて、10月に実施する。各施設のトレーニングルーム等を無料開放するほか、新体力テストやスポーツ・武道の体験指導等を行う。

(3) スポーツ国際交流事業を通じた次世代のスポーツ選手の育成

- スポーツ国際交流事業では、「2024 東京国際ユース (U-14) サッカー大会」及び「2024 ジュニアスポーツアジア交流大会」を開催する。各大会には被災地4県からの選手団を招待するほか、被災地との交流促進の観点から、ユースサッカー大会については福島県のＪヴィレッジで開催する。

さらに、東京の優れた柔道指導者等を海外都市へ派遣する「柔道指導者派遣事業」を実施する。

2 公2事業（2025年デフリンピック大会の準備・運営事業）

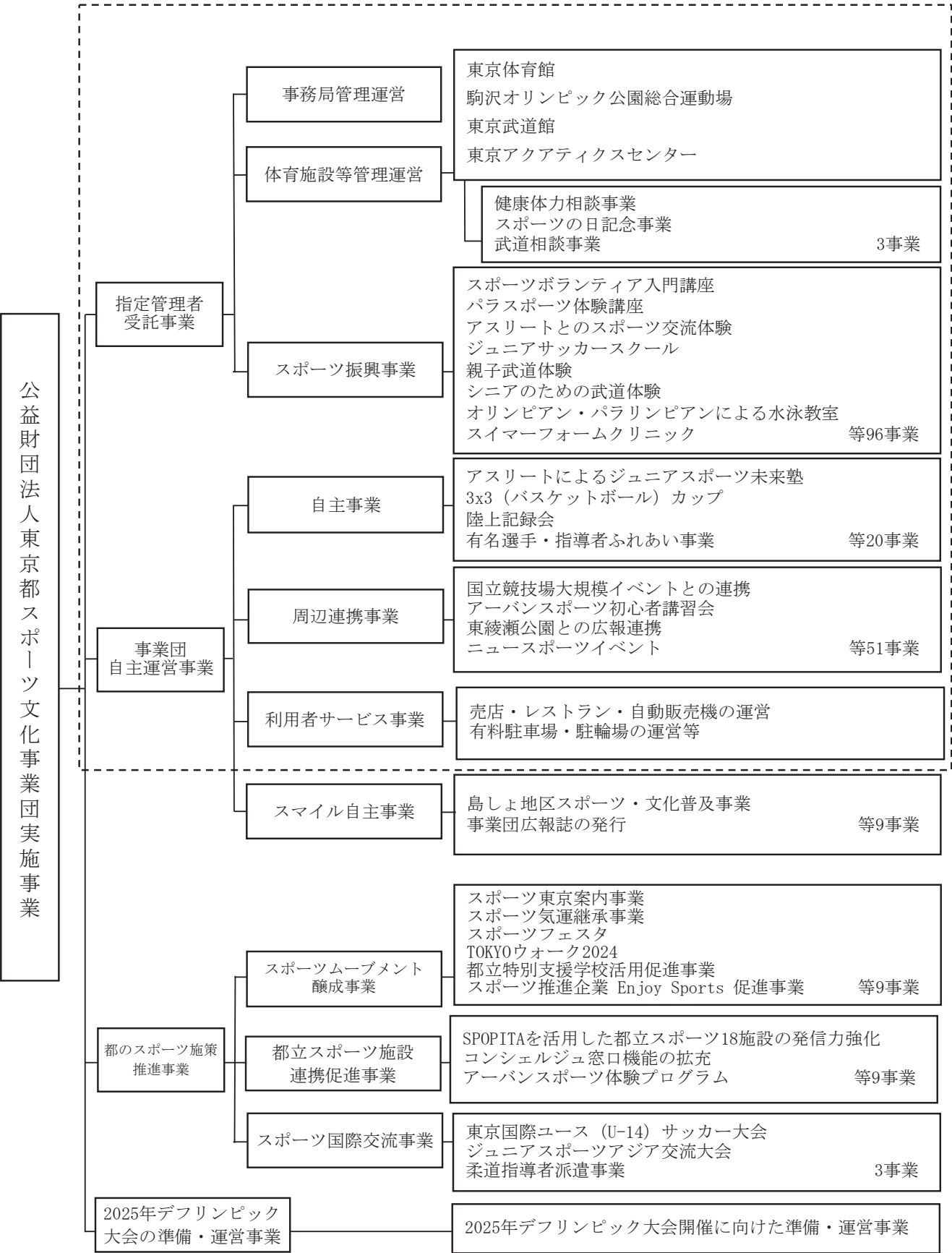
2025年デフリンピック大会開催に向けた準備・運営事業

- 2025年デフリンピック大会の準備・運営事業を通じて、将来的に国際大会や競技団体の支援に活用可能な大会運営のノウハウ・経験等を蓄積するため、大会の招致主体である一般財団法人全日本ろうあ連盟及び大会運営を支援する東京都と連携し、準備業務を進めていく。
- 国や都の指針・ガイドラインを踏まえ、国際スポーツ大会の運営組織として構築したガバナンス体制のもと、各種取組を確実に実施する。
 - ・ デフリンピック準備運営本部におけるコンプライアンス委員会の開催、継続的なコンプライアンス教育の実施
 - ・ 利益相反マネジメントポリシーの運用及び利益相反マネジメント委員会の開催
 - ・ 契約・調達管理会議への契約案件付議
 - ・ 内部通報窓口、懲戒処分審査体制の運用、三様監査の継続的な実施
- 令和5年度に策定した開催基本計画の考え方にに基づき、施設利用調整や輸送、競技・会場等のオペレーション、管理・広報等の各種準備・調整を着実に進める。
 - ・ 施設利用調整等（仮設整備や施設使用に係る検討・調整等）
 - ・ 輸送等（競技会場等までの輸送、警備に係る検討等）
 - ・ オペレーション（大会運営に係る計画の策定、各種会議の開催、競技・会場運営の準備、式典の計画、宿泊施設の提供に係る準備、出入国調整、ボランティアの配置・運用等に係る準備等）
 - ・ 管理・広報（大会情報の発信、大会収入に係る企画・実施、事務局の運営等）
- 当事業団が管理する東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館及び東京アクアティクスセンターについては、大会の競技会場として使用される予定であり、指定管理者制度において培った運営のノウハウ・経験や、国内競技団体等と連携した国際交流事業や各種大会を実施してきた豊富な経験を生かし、大会の円滑な開催に向けて全日本ろうあ連盟や競技団体等との調整を行う。

3 収益事業等

各施設において引き続き売店、レストラン、自動販売機、駐車場、駐輪場の運営などの利用者サービス事業を実施するとともに、スポーツ活動の振興に係る施設の貸出しの空き枠を活用し、イベント等公益目的事業以外の貸出しを実施する。

<参考> 事業体系



※ 点線内は、指定管理者として提案した「指定管理者関連事業」

令和6年度事業計画書

附 属 明 細 書

I 公1事業（スポーツ活動等の振興、普及啓発に関する事業）

1 スポーツ活動等に親しむ場の提供事業

(1) 体育施設等管理運営

区分	施設名	所在地	敷地面積	構造・建物延面積	開設年月日
体育施設	東京体育館	渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1	45,800㎡	鉄骨・鉄筋 コンクリート 45,332㎡	昭和29年6月
	駒沢オリンピック公園 総合運動場	世田谷区駒沢公園 1-1	157,038㎡	各棟鉄骨・鉄筋 コンクリート 45,688㎡	昭和39年12月
	東京武道館	足立区綾瀬 3-20-1	14,824㎡ (導入路含まず。)	鉄骨・鉄筋 コンクリート 17,614㎡	平成2年2月
	東京アクア ティクスセンター	江東区辰巳 2-2-1	36,399㎡	鉄骨コンクリート 一部鉄筋・鉄骨コンクリ ート、鉄筋コンクリート 50,692㎡	令和2年3月

主要施設（収容能力・定員等）
メインアリーナ（82m×51m）《固定席5,308席、最大9,308席》、サブアリーナ（34.5m×38m）《観客席なし》 陸上競技場 200mトラック 5レーン（100m直線レーン）、人工芝多目的コート2面 ナイター設備 屋内プール（50m×20m） 8レーン（うち2レーンにプールフロア設置） 水深1.2m～2.2m《観客席789席》 屋内プール（25m×13m） 6レーン 水深1.2m～1.4m《観客席なし》、トレーニングルーム A（412㎡）・B（191㎡） 健康体力相談室（130㎡）、スタジオ（340㎡）、更衣室（プール・トレーニングルーム・スタジオ共用）（1,080㎡） 第一会議室（120人）、第二会議室（60人）、第三・四会議室（各30人）、スポーツ情報コーナー
陸上競技場（天然芝106m×73m）400m 8レーン《20,010席》、体育館（38.86m×47.4m）《固定席2,354席、最大3,478席》（令和5年度から改修工事中） 屋内球技場（39m×47m）《固定席1,532席、最大2,358席》、第一球技場（砂入り人工芝109.53m×73.51m）《1,038席》 第二球技場（人工芝110.8m×75.9m）《1,618席》、補助競技場（人工芝135m×78m）《観客席なし》 硬式野球場（人工芝 両翼91m、センター120m）《3,040席》、軟式野球場（188m×66.8m）2面《観客席なし》 テニスコート（砂入り人工芝コート8面）、弓道場（近的9人立：和弓28m、洋弓18m 遠的2人立：和弓60m、洋弓30m・50m） トレーニングルーム（1,996㎡）、東京オリンピックメモリアルギャラリー（345㎡）（令和5年度から改修工事中）
大武道場（35m×59m）《固定席1,728席、最大3,728席》、第一武道場（柔道・空手等：畳敷240畳 18m×32.5m）《観客席30席》 第二武道場（剣道・なぎなた等：板敷 18m×32.5m）《観客席30席》、弓道場 近的場28m（和弓12人立） 遠的場60m（和弓10人立） トレーニングルーム（449.7㎡）、大研修室（150人 3分割使用可 スタジオ仕様）、和研修室（7室 1室8畳）、茶室、情報資料コーナー
メインプール（50m×25m） 水深0～3.0m・可動壁・長水路（50m）全10レーン、短水路（25m）全20レーン《観客席約5,000席》 ダイビングプール（25m×25m） 水深5m・飛込台1m、3m、5m、7.5m、10m各1基、1m飛板2基、3m飛板3基 サブプール（50m×25m） 水深0～3.0m・可動壁・長水路（50m）全10レーン、短水路（25m）全20レーン《観客席なし》 飛込用トレーニングルーム（395㎡）、トレーニングルーム（237㎡）、スタジオ（344㎡）、会議室（2室 計615㎡）、大会関係室（3室 計753㎡）

(2) 利用貸出事業

① 令和6年度 各体育施設における大規模・国際大会等の予定

施設名	大会名等	主催者	日程
東京都 体育館	明治杯全日本選抜レスリング選手権大会	(公財) 日本レスリング協会	5/23～26
	第41回全日本武術太極拳選手権大会	(公社) 日本武術太極拳連盟	7/12～14
	イオンカップ2024世界新体操クラブ選手権	(公社) 日本新体操連盟	9/26～29
	2024-25 S-V. LEAGUE 開幕戦	(公財) 東京都バレーボール協会	10/11～12
	三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権大会	(公社) 全日本ダンススポーツ連盟	10/19～20
	第24回全日本チアダンス選手権大会決勝大会	(一社) 日本チアダンス協会	11/23～24
	SCV全日本大学バレーボール大会	(公財) 日本バレーボール協会	11/26～28
	グランドスラム東京2024国際柔道大会	(公財) 全日本柔道連盟	12/6～8
	第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会 (ウインターカップ)	(公財) 日本バスケットボール協会	12/23～29
	第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会 (春高バレー)	(公財) 日本バレーボール協会	1/5～7、 1/11～12
	天皇杯・皇后杯全日本卓球選手権大会	(公財) 日本卓球協会	1/20～26
	天皇杯第50回日本車いすバスケットボール選手権大会	(一社) 日本車いすバスケットボール連盟	1/31～2/2
	第39回テニス日本リーグ	(公財) 日本テニス協会	2/14～16
	TOKYO OPEN 2025第77回東京卓球選手権大会	(一社) 東京都卓球連盟	3/4～9
	B. LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2025	(公財) 日本バスケットボール協会	3/26～30
駒沢 オリンピック 公園 総合 運動場	ジャパンラグビーリーグワン2023-2024	(一社) ジャパンラグビーリーグワン	4/6～7
	2023-24 V. LEAGUE駒沢大会 (V-CUP)	(一社) ジャパンバレーボールリーグ	4/6～7
	第87回東京陸上競技選手権大会	(公財) 東京陸上競技協会	4/13～14・27～ 28
	2024ブレナスなでしこリーグ (1部)	(公財) 東京都サッカー協会	6/8・22
	全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会	(公社) 日本綱引連盟	8/4
	第25回全日本障害者・高齢者フライングディスク競技大会	(一社) 東京都障害者フライングディスク協会	8/17～18
	文部科学大臣杯UNIVAS CUP令和6年度全日本学生レスリング選手権大会	(一社) 全日本学生レスリング連盟	8/23～26
	2024ジュニアスポーツアジア交流大会 (バドミントン)	東京都、東京都バドミントン協会 (公財) 東京都スポーツ文化事業団	8/30～9/1
	第21回日本デフ陸上競技選手権大会	(一社) 日本デフ陸上競技協会	11/30～12/1
	B. LEAGUE U18 ELITE8 LEAGUE 2024	(公財) 日本バスケットボール協会	12/6～8
	ジャパンラグビーリーグワン2024-2025	(一社) ジャパンラグビーリーグワン	12/7
	2024ジャパンパラボッチャ競技大会	(公財) 日本パラスポーツ協会	12/14～15
	第35回全日本セパタクロウ選手権大会	(一社) 日本セパタクロウ協会	12/28～29
	令和6年度第103回全国高校サッカー選手権大会	(公財) 日本サッカー協会	12/29～1/2
運動場	スポーツクライミングボルダージャパンカップ2025	(公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会	2/1～2
	Tリーグ2024 - 2025	(一社) Tリーグ	3/8～9
	JFA第30回全日本フットサル選手権大会	(公財) 日本サッカー協会	3/20～3/22

施設名	大会名等	主催者	日程
東京武道館	JOCジュニアオリンピックカップ令和6年度ジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会	(公財) 日本レスリング協会	4/13～14
	第34回マルちゃん杯関東少年柔道大会	(公財) 東京都柔道連盟	6/30
	空手 WEEK 2024	(公財) 全日本空手道連盟	8/8～12
	2024ジュニアスポーツアジア交流大会(卓球)	東京都、(一社) 東京都卓球連盟 (公財) 東京都スポーツ文化事業団	8/28～9/1
	東京都剣道選手権大会・寛仁親王杯剣道八段選抜大会	(一財) 東京都剣道連盟	9/7
	令和6年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会	(公財) 東京都柔道連盟	9/22
	全日本居合道大会	(一財) 東京都剣道連盟	10/19
	第72回全国青年大会(剣道)	(一財) 日本青年館	11/9～11
	第1回 関東高等学校弓道選抜大会	東京都高等学校体育連盟弓道専門部	11/23～24
	第52回全日本空手道選手権大会	(公財) 全日本空手道連盟	12/7
	第8回JDKF. 空手道競技大会	全日本ろう者空手道連盟東京都支部	2/9
東京アクアテイルスク	第100回日本選手権水泳競技大会(アーティスティックスイミング)	(公財) 日本水泳連盟	5/3～5
	第16回東京都選手権	(公財) 東京都水泳協会	5/31～6/2
	第39回日本マスターズ水泳選手権大会(ジャパンマスターズ2024)	(一社) 日本マスターズ水泳協会	7/3～7
	日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ2024	(公財) 日本水泳連盟	8/7～9
	第47回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会(競泳)	(公財) 日本水泳連盟	8/22～26
	第100回日本学生選手権水泳競技大会(競泳・飛込)	(公財) 日本水泳連盟	9/5～8
	第66回日本選手権水泳競技大会25m(競泳)	(公財) 日本水泳連盟	10/19～20
	東京スイミングセンター優秀選手招待水泳競技大会	(公財) 東京都水泳協会	10/31～11/4
	ジャパンオープン2024(競泳)	(公財) 日本水泳連盟	11/29～12/1
	KOSUKE KITAJIMA CUP2025	(公財) 東京都水泳協会	1/24～26
	第40回コナミオープン水泳競技大会	(公財) 東京都水泳協会	2/15～16
	第100回日本選手権水泳競技大会(競泳)	(公財) 日本水泳連盟	3/17～24
	第47回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会(競泳)	(公財) 日本水泳連盟	3/27～30

② 令和6年度 各体育施設の稼働率(目標値)

施設名		令和6年度目標	令和5年度目標	令和4年度実績(注)1
東京体育館	メインアリーナ	98.2%	98.0%	95.4%
	サブアリーナ	97.8%	97.5%	96.7%
駒沢オリンピック公園総合運動場	体育館	— (注)2	— (注)2	93.5%
	屋内球技場	93.0%	92.0%	88.5%
	第一球技場	85.6%	84.0%	85.5%
	第二球技場	98.1%	98.0%	94.1%
	補助競技場	98.1%	98.0%	94.7%
東京武道館	大武道場	90.7%	86.0%	90.6%
3館平均		95.0% (注)3	93.3%	92.7% (注)3

(注)1 新型コロナウイルス感染症対策に伴う影響有

(注)2 改修工事による休館(令和5年4月1日から令和7年6月頃まで(予定))

(注)3 各施設の「利用コマ数計/利用可能コマ数計」

2 スポーツ活動等に親しむことができる機会の提供事業

(1) スポーツ振興事業

① 東京体育館 (27事業)

	事業名	1事業当たりの規模			事業内容
		回数	1回当たり 定員 (人)	総定員 (人)	
幼 児 ・ 子 供	1 ジュニアスポーツ成功体験プログラム	1	80	80	ジュニア世代を対象に、著名アスリートや指導者などを講師に招き、スポーツを体験する機会を提供する。
	2 こどもスポーツチャレンジ	1	80	80	ジュニア世代を対象に、スポーツを通じた学びの環境を提供し、心身の健全な育成とスポーツ活動の継続に寄与する。
	3 ジュニア選手のメンタルトレーニング	1	60	60	ジュニア世代のスポーツ選手を対象に、著名なメンタルトレーニング法の指導者を講師に招き、競技者に必要な「メンタルトレーニング法」を学ぶ機会を提供する。
	4 スポーツ学びチャレンジ	1	80	80	ジュニア世代のスポーツ選手やその保護者、指導者を対象に、著名なスポーツ指導者や専門家等を講師に招き、ジュニア選手の競技力向上に寄与する。
	5 親子で楽しむリズムスポーツ	1	80 (40組)	80 (40組)	小学生と保護者を対象に、リトミックやヒップホップ、コンテンポラリー・ダンス等について基本技術を学び、音楽をととしてスポーツの楽しさを体験する。
	6 親子で楽しむレクリエーションパーク	1	80 (40組)	80 (40組)	働き盛り・子育て世代の親子を対象に、体操、遊び、ニューススポーツなどの講習会や体験をととして、基本的な身体の動かし方を学ぶ。
子 働 育 き て 盛 り 代 ・	7 女性のためのレクリエーションスポーツ	1	60	60	働き盛り世代の女性を対象に、日常生活をととして無理なく気軽に実践できる多様なトレーニング法やスポーツを紹介する。
	8 女性のためのボディメイキングセミナー	1	80	80	女性を対象に健康的な美しさやアンチエイジングをテーマに日常的に取り入れられるスポーツやエクササイズを紹介する。
	9 女性バレーボール交流会 ファイナル	1	24チーム (360人)	24チーム (360人)	9人制女性バレーボールチームを対象に、駒沢オリンピック公園総合運動場と東京武道館で開催する各交流会の代表チームによる対抗試合を、東京体育館メインアリーナで実施する。
	10 今日から筋トレ	1	80	80	スポーツ実施率の低い働き盛り世代を対象に、「筋力トレーニング」や「ストレッチング」など、生活習慣病や生活機能低下の予防や改善に繋がる運動法を紹介するセミナーを開催する。
	11 格闘技スポーツ体験教室	1	100	100	都民を対象に、ボクシング、キックボクシング、総合格闘技など、観戦スポーツで人気の高い格闘技の体験プログラムを提供する。
	12 フィジカルトレーニングセミナー	1	80	80	競技志向のスポーツ実施者を対象に、著名な指導者などを講師に招き、スポーツ競技全般におけるトレーニング法や競技者に求められるフィジカル面の強化法を指導する。
	13 メンタルトレーニング入門セミナー	1	60	60	スポーツ実施率の低い働き盛り・子育て世代を対象に、スポーツ活動をはじめ、職場や子育てなどで幅広く活用できるメンタルトレーニングを学ぶセミナーを実施する。
	14 メンタルトレーニングスキルアップセミナー	1	60	60	競技志向のスポーツ実践者を対象に、著名な指導者を講師に招き、スポーツ競技全般におけるメンタルトレーニング法や競技者に求められるメンタル面の強化法を指導する。
	15 スポーツボランティア入門講座	1	80	80	都民を対象に、スポーツボランティアについて学び、各種スポーツイベントや競技大会のボランティアの養成を支援する。
高 齢 者	16 スポーツボランティアスキルアップ講座	1	80	80	ボランティア経験者を対象に、スポーツボランティアに必要な知識や技能を幅広く学べる講座を開催する。
	17 体力向上ウォーキングセミナー	2	60	120	都民の全世代を対象に、楽しく長く続けるための正しいウォーキング法の基礎講座を実施する。
	18 シニアのための毎日エクササイズ教室	2	60	120	シニア世代を対象に、身体の柔軟性や日常生活に欠かせない筋力などの基礎体力を高めることを目的として、器具や道具をできるだけ使用しないエクササイズの講習を実施する。
	19 シニアのための健康体力づくり講座	2	60	120	シニア世代を対象に、個々の健康や体力の状況を把握する講座を開催し、スポーツの習慣化を促進する。
	20 シニアのためのスポーツクリニック	2	60	120	競技志向のシニア世代を対象に、マスターズ大会として行われている、卓球、バドミントン、バレーボールなどを種目として取り上げ、スキルアップのためのクリニックを実施する。

	事業名	1事業当たりの規模			事業内容
		回数	1回当たり 定員（人）	総定員 （人）	
障害者 スポーツ	21 障害者対象「パラスポーツ交流会」	1	100	100	障害区分に応じて参加できる大会を実施し、参加者間及びボランティアとのスポーツを通じた交流を図る機会を提供する。
	22 パラスポーツ体験講座	2	80	160	都民及びスポーツ指導者を対象に、パラリンピアンや障害者スポーツの現場で活躍する指導者を招き、障害者スポーツの体験、観戦、講習、アスリートによる講演会等を実施する。
その他	23 スポーツ指導者養成講習会	1	60	60	指導者資格取得を目指し、専門的スキルを幅広く学ぶ講習会を実施し、「支える」人材の育成に寄与する。
	24 ジュニアスポーツ指導者育成セミナー	1	80	80	ジュニア世代のスポーツ指導者を対象に、ジュニア期の身体的特性や発育・発達に基づいたテーマでセミナーを開催する。
	25 シニアスポーツ指導者講習会	1	60	60	シニア世代のスポーツ指導者を目指す人を対象に、シニア世代の身体的特性を考慮したスポーツ指導法を学ぶ講習会を開催する。
	26 観戦を楽しむための「みるスポ」講座	2	60	60	競技の歴史やルール、選手のプロフィール、観戦の見どころ、競技体験、大会運営の舞台裏など、スポーツの見方や楽しみ方について学べる講座を開催する。
	27 トップレベルスポーツ観戦事業	4	100	400	競技団体やスポーツ大会主催者の協力を得て、都民に対し、トップアスリートの競技を直接「みる」機会を広く提供する。

② 駒沢オリンピック公園総合運動場（14事業） ※体育館工事休館による規模縮小

	事業名	1事業当たりの規模			事業内容
		回数	1回当たり 定員（人）	総定員 （人）	
幼児・子供	1 親子で楽しむスポーツカーニバル	1	288	288	幼児・小学生と保護者を対象に、様々な種目を体験する機会を提供する。
	2 ジュニアサッカースクール	1 (全38回)	420	15,960	幼児・子供を対象に、サッカーを通して基本技術の習得、フェアプレー精神を培う場を提供する。
	3 ジュニアテニスアカデミー	3 (各10回)	40～60	1,400	幼児・子供を対象に、テニスを通して基本技術の習得、フェアプレー精神を培う場を提供する。
	4 屋外スポーツ部活動合同練習会	2	100	200	運動部活動生徒を対象に、運動部活動の活性化、ジュニア世代の競技力向上を図る合同練習会を実施する。
	5 アスリートとのスポーツ交流体験	2	50	100	子供と保護者を対象に、継続的なスポーツ実践のきっかけとなるよう著名なアスリート等による指導を実施する。
働き盛り世代	6 ランニングクリニック	2	40	80	働き盛り世代を対象に、ランニング技術の向上を図るセミナーを実施する。
	親子で楽しむスポーツカーニバル（再掲）	1	288	288	幼児・小学生と保護者を対象に、様々な種目を体験する機会を提供する。
	アスリートとのスポーツ交流体験（再掲）	2	50	100	子供と保護者を対象に、継続的なスポーツ実践のきっかけとなるよう著名なアスリート等による指導を実施する。
女性	7 1964東京オリンピック優勝記念女性バレーボール交流会	1	60チーム (660)	60チーム (660)	女性バレーボールチームを対象に、女性スポーツの一層の充実を図るため、交流試合を開催する。
高齢者	8 シニアのためのスポーツクリニック	1	40	40	高齢者を対象に、健康・体力の維持増進、スポーツ技能の向上を図るためのクリニックを実施する。
	9 障害者・高齢者スポーツ講座	1	50	50	障害者と高齢者を対象に、スポーツ活動意欲を促進するため、スポーツに親しむ場を提供する。

		事業名	1事業当たりの規模			事業内容
			回数	1回当たり 定員（人）	総定員 （人）	
障害者 スポーツ	10	パラスポーツクリニック	1	50	50	障害者を対象に、継続的なスポーツ実践のきっかけとなるよう身体能力に応じた技術を得得する機会を提供する。
	11	パラスポーツシンポジウム	2	50	100	都民を対象に、パラスポーツの理解促進を図るためのシンポジウムを実施する。
		障害者・高齢者スポーツ講座（再掲）	1	50	50	障害者と高齢者を対象に、スポーツ活動意欲を促進するため、スポーツに親しむ場を提供する。
指導者	12	障害者・高齢者指導のための指導者講習会	2	50	100	障害者・高齢者指導を行う指導者を対象に、障害者・高齢者の運動指導に必要な体力づくりやスポーツ活動の知識と指導技術を学ぶ機会を提供する。
	13	AED（自動体外式除細動器）普及啓発講習	1	40	40	スポーツ指導者等を対象に、救急の際に必要な知識と技能を学ぶ機会を提供する。
その他	14	トップスポーツ観戦事業	3	50	150	都民を対象に、競技団体の協力を得てトップアスリートの競技をみる機会を提供する。

※ 上記事業の他に、指定管理者としてコンソーシアムを組む一般社団法人東京都レクリエーション協会により、スポーツ振興事業の実施を予定している。

③ 東京武道館（34事業）

		事業名	1事業当たりの規模			事業内容
			回数	1回当たり 定員（人）	総定員 （人）	
幼児・子供	1	青少年武道錬成大会	1	100	100	青少年に対する正しい武道の基本技術の習得と親睦を深める。（日本武道館補助対象事業）
	2	青少年広域武道稽古（剣道）	35	20	700	小・中学生の剣道初心者、初級者を対象とした、技術向上のためのレベル別指導と所作・礼節指導を行う。
	3	青少年広域武道稽古（柔道）	35	20	700	小・中学生の柔道初心者、初級者を対象とした、技術向上のためのレベル別指導と所作・礼節指導を行う。
	4	武道系部活動合同稽古（剣道）	3	2回50 1回300	400	運動部活動（剣道）の活性化のための合同稽古を行う。
	5	武道系部活動合同稽古（なぎなた）	2	100	200	運動部活動（なぎなた）の活性化のための合同稽古を行う。
	6	武道系部活動合同稽古（少林寺拳法）	2	80	160	運動部活動（少林寺拳法）の活性化のための合同稽古を行う。
	7	武道系部活動合同稽古（弓道）	1	80	80	運動部活動（弓道）の活性化のための合同稽古を行う。
	8	親子武道体験	1	30	30	武道に興味を持つ子供を対象に、武道の素晴らしさや楽しさを知る機会を提供し、楽しみながら武道に触れ、武道の精神を理解することにより、武道を始めるきっかけづくりに寄与する。
	9	武道館でBUDO	1	30	30	「スポーツチャンバラ」などの、障害のあるなしに関わらず楽しめる、親しみやすいレクリエーションを通じて、誰もが武道に興味を持ち、運動をするきっかけづくりに寄与する。
働き盛り世代	10	柔道広域合同稽古	35	30	1,050	柔道の技術向上のためのレベル別指導を行う。
	11	弓道広域合同稽古	30	60	1,800	弓道の技術向上のためのレベル別指導を行う。

		事業名	1事業当たりの規模			事業内容
			回数	1回当たり 定員（人）	総定員 （人）	
働き盛り世代	12	なぎなた広域合同稽古	32	30	960	なぎなたの技術向上のためのレベル別指導を行う。
	13	居合道広域合同稽古	12	60	720	居合道の技術向上のためのレベル別指導を行う。
	14	杖道広域合同稽古	6	40	240	杖道の技術向上のためのレベル別指導を行う。
	15	合気道広域合同稽古	6	40	240	合気道の技術向上のためのレベル別指導を行う。
女性	16	女性のための武道体験	1	50	50	武道に興味を持つ女性を対象に、武道の素晴らしさや楽しさを知る機会を提供し、楽しみながら武道に触れ、武道の精神を理解することにより、武道を始めるきっかけづくりに寄与する。
	17	女性バレーボール交流会	1	36チーム (396)	36チーム (396)	9人制バレーボールクラブの交流試合（東京体育館・駒沢オリンピック公園総合運動場の事業と連動）を実施する。
高齢者	18	シニアのための武道体験	2	30	60	武道に経験の少ないシニア世代を対象に、身体を動かす楽しさや武道の素晴らしさを知る機会を提供し、武道の技能や精神の理解を促し、体力の向上と武道の習慣化に寄与する。また、日常の継続化を図るために、他業種との連携推進を図る。
障害者スポーツ	19	障害者スポーツ理解・啓発講習	1	40	40	障害者スポーツの特性や素晴らしさの理解を促す講習を行う。
	20	障害者スポーツ普及講習	1	40	40	種目体験を通じて楽しさや奥深さを知り、障害者スポーツの普及を図る講習を行う。
	21	障害のある人のための武道体験	1	20	20	障害のある人を対象とした、武道の素晴らしさや楽しさを紹介する体験事業を行う。
指導者の育成	22	地域社会武道指導者研修会	1	40	40	指導者を対象とした、正しい武道の技術や指導方法の研修（日本武道館補助対象事業）を行う。
	23	居合道錬成講習会	1	40	40	居合道の指導技術向上のための理論と実技の講習を行う。
	24	なぎなた錬成講習会	1	40	40	なぎなたの指導技術向上のための理論と実技の講習を行う。
	25	合気道錬成講習会	1	40	40	合気道の指導技術向上のための理論と実技の講習を行う。
	26	空手道錬成講習会	1	30	30	空手道の指導技術向上のための理論と実技の講習を行う。
	27	弓道錬成講習会	1	40	40	弓道の指導技術向上のための理論と実技の講習を行う。
	28	古流剣道形研修会	35	10	350	直心影流「法定の形」、五行之形の技術の研修を行う。
競技力の向上	29	武道強化練習会	1	30	30	ジュニアを対象とした、武道の競技力向上を目的とした稽古会を行う。
	30	剣道広域合同稽古	12	100	1,200	剣道の競技力向上を目的とした技術指導を行う。
	31	武道稽古はじめ	1	60	60	新年を祝う年はじめの武道稽古を行う。
	32	東京武道館杯	1	600	600	小学生以上の武道愛好者が集う試合、演武の総合武道大会を実施する。
	33	トップスポーツ観戦事業	3	30	90	都民に対して、トップアスリートの競技を「観る」機会を提供する。
	34	技術向上支援 （中学校武道必修化サポート）	2	20	40	教員を対象とした、指導技術等の向上のための支援を行う。

④ 東京アクアティクスセンター (21事業)

		事業名	1事業当たりの規模			事業内容
			回数	1回当たり 定員 (人)	総定員 (人)	
幼児・子供	1	オリンピック・パラリンピアンによる水泳教室	2	100	200	小・中学生を対象に、水泳に対する意欲の高揚を図るため、オリンピック等による指導を実施する。
	2	アクアスイミングランキング	6	50	300	小学生等を対象に、競技力、水泳への取組意欲の向上を図るため、競泳の学年別・泳法別の記録会を実施する。
	3	競泳ジュニア選手活動活性化事業	2	50	100	競泳のジュニア選手を対象に、技術向上や選手間の交流の機会を創出する。
	4	アーティスティックスイミングジュニア選手活動活性化事業	1	50	50	アーティスティックスイミングのジュニア選手を対象に、技術向上や選手間の交流の機会を創出する。
	5	飛込ジュニア選手活動活性化事業	1	30	30	飛込のジュニア選手を対象に、技術向上や選手間の交流の機会を創出する。
	6	親子で楽しむチャレンジスポーツ	1	100	100	小学生とその保護者を対象に、親子間におけるスポーツの楽しさの共有を図るため、スポーツを体験する機会を提供する。
働き盛り世代	7	スイマーフォームクリニック	24	20	480	働き盛り世代を対象に、競技力向上又は生涯スポーツとしての促進を図るため、目的に合わせたクリニックを実施する。
	8	東京アクアティクスセンター杯水泳大会(競泳)	1	3,500	3,500	水泳愛好者を対象に、東京2020大会の開催を記念し、日頃の練習の成果を発揮する場として、競泳の競技会を開催する。
	9	東京アクアティクスセンター杯水泳大会(AS・飛込)	1	500	500	水泳愛好者を対象に、東京2020大会の開催を記念し、日頃の練習の成果を発揮する場として、AS及び飛込の競技会を開催する。
	10	アーティスティックスイミング体験会	1 (全5日)	80	400	競技の普及・振興を図るため、ASの基本動作・技術等を学ぶ機会を提供する。
	11	飛込体験会	1 (全5日)	50	250	競技の普及・振興を図るため、飛込の基本動作・技術等を学ぶ機会を提供する。
	12	水球体験会・水球クラブ間交流会	1 (全5日)	80	400	競技の普及・振興を図るため、水球の基本動作等を学ぶ機会とクラブ間交流を深める機会を提供する。
	13	オープンウォータースイミング体験会	1	50	50	競技の普及・振興を図るため、オープンウォータースイミングの基本動作・技術等を学ぶ機会を提供する。
高齢者	14	運動不足解消のための水中運動講座	6	40	240	スポーツ活動への意欲を高めるため、健康増進やアンチエイジングを目的とした講座を実施する。
	15	愛好者のためのトップスイマークリニック	1 (全4日)	40	160	競技志向者を対象に、水泳競技の継続意欲をより一層促進するため、トップアスリートによる水泳指導を実施する。
障害者スポーツ	16	はじめての障害者スイミング・水泳ボランティアセミナー	2	40	80	障害者の水泳初心者・初級者を対象に、水慣れ、泳法の基本指導を行う教室と、障害者支援に興味のある方を対象に、ボランティアセミナーを実施する。
	17	障害者水泳交流大会	1	60	60	障害者を対象に、水泳の裾野拡大を図るため、スポーツをする楽しみや達成感を味わえる交流大会を開催する。
指導者の育成	18	水泳コンベンションinアクア	1	100	100	水泳指導者を対象に、指導者の資質の向上と交流を図るため、指導者が一堂に会する機会を提供する。
	19	障害者水泳指導セミナー	1	50	50	障害者水泳の指導者やパラアスリートの保護者等を対象に、障害の程度に応じた水泳指導のスキルを学ぶ講習会を実施する。
	20	マスターズ水泳指導セミナー	1	80	80	スポーツ指導者、指導者を目指す人を対象に、シニア世代の身体的特性に考慮した水泳指導のスキルを学ぶ講習会を実施する。
その他	21	観戦招待事業	3	100	300	都民を対象に、スポーツへの興味・関心と実践意欲を高めるため、大規模水泳大会の観戦招待を行う。

(2) 自主事業

① 東京体育館（10事業）

	事業名	1事業当たりの規模			事業内容
		回数	1回当たり 定員（人）	総定員 （人）	
1	アスリートによる部活動クリニック	2	60	120	高校生世代の競技者や指導者を対象に、トップアスリートや著名指導者等による技術指導を行う。また、指導の様子を撮影したアーカイブ映像を後日参加者へ配信し、学んだことの振り返りを行えるサービスを提供する。
2	アスリートによるジュニアスポーツ未来塾	1	60	60	ジュニア世代を対象に、著名アスリート等を講師に招き、実技指導や講話などを通して子供たちがスポーツに親しむ機会を提供する。
3	東京体育館卓球大会「東京体育館杯」	1	150	150	都民を対象として、東京2020オリンピック・パラリンピックで卓球競技会場となった東京体育館で、幅広い年齢層が参加できる卓球大会を実施する。
4	シニアのための健康体力測定	1	50	50	健康体力相談事業と連携し、シニア世代を対象に、個々の体力測定の結果に応じた正しい運動の実施方法などを専門家に相談する機会を提供する。
5	トップアスリートスポーツフォーラム	1	120	120	都民を対象に、元又は現役トップアスリートを講師に招き、スポーツ界のタイムリーなテーマによる講演やシンポジウムなどを実施し、スポーツへの理解を深める機会を提供する。
6	スポーツビジネスセミナー	1	50	50	学生、社会人等を対象に、著名なスポーツビジネスの研究者等を講師に招き、スポーツビジネスへの理解を深めるセミナーを開催する。
7	多目的コートの保育園園庭利用	通年	—	—	多目的コートの空き時間に、園庭が無い近隣保育園・幼稚園の園庭として活用できるよう施設提供を行う。
8	フットサルTOTA倶楽部	通年	—	—	フットサル愛好者を対象に、陸上競技場の多目的コートを活用し、フットサルスクールや交流会を実施する。
9	東京体育館ランニングクリニック	年12回	—	—	都民及びジュニアのランニング愛好者を対象に、著名な指導者等によるランニングの基礎理論と技術習得のためのプログラムを提供する。
10	スポーツ人材マッチングコーナー	年1回以上	—	—	スポーツイベントの際にボランティアやスポーツ指導者などスポーツを支える人材をマッチングするコーナーを設け、スポーツを「支える」人材を積極的に活用し、支援する。

※ 上記事業の他に、指定管理者としてコンソーシアムを組む株式会社ティップネスにより、利用者のニーズに合わせた多彩なプログラムの提供を予定している。

② 駒沢オリンピック公園総合運動場（6事業） ※体育館工事休館による規模縮小

	事業名	1事業当たりの規模			事業内容
		回数	1回当たり 定員（人）	総定員 （人）	
1	ジュニアベースボール大会	1	16チーム (320)	16チーム (320)	小・中学生を対象に、軟式野球チームの東京都一を決定する軟式野球大会を実施する。
2	ジュニアラグビースクール	1 (全10回)	60	600	小学生を対象に、基礎的な技術習得と体力向上を図るため、ラグビーの指導を受ける機会を提供する。
3	ソサイチリーグ	20	16チーム (144)	320チーム (2,880)	学生と社会人を対象に、継続的なスポーツの実施を促進するため、8人制サッカー（ソサイチ）の試合を行う機会を提供する。
4	陸上記録会	2	40	80	ランニング愛好者を対象に、陸上競技長距離の記録を計る機会を提供する。
5	ジュニアフットボールパーク	2	48チーム (384)	96チーム (768)	幼児・小学生を対象に、サッカーやフットサルの交流試合を実施する。
6	3x3（バスケットボール）カップ	1	48チーム (192)	48チーム (192)	バスケットボールや3×3の競技者及び愛好者を対象に、3×3の大会を実施する。

※ 上記事業の他に、指定管理者としてコンソーシアムを組む株式会社オーエンスにより、利用者のニーズに合わせた多彩なプログラムの提供を予定している。

③ 東京武道館（４事業）

	事業名	1事業当たりの規模			事業内容
		回数	1回当たり 定員（人）	総定員 （人）	
1	U-18将棋スタジアム	1	700	700	青少年を対象に、将棋大会、プロ棋士による指導対局、入門教室等を行う総合的な将棋イベントを実施する。
2	ジュニア囲碁パーク	1	400	400	青少年を対象に、囲碁大会、プロ棋士による指導対局、入門教室等を行う総合的な囲碁イベントを実施する。
3	有名選手・指導者ふれあい事業	1	600	600	トップ選手や有名指導者とふれあう機会を提供する。
4	武道＆茶道体験事業	1	10	10	初心者や外国人等を対象とした、武道・茶道体験教室を実施し、日本文化の紹介と武道のすそ野拡大を図る。

※ 上記事業の他に、指定管理者としてコンソーシアムを組む株式会社ティップネスにより、利用者のニーズに合わせた多彩なプログラムの提供を予定している。

④ 東京アクアティクスセンター

指定管理者としてコンソーシアムを組むセントラルスポーツ株式会社により、利用者のニーズに合わせた多彩なプログラムの提供を予定している。

(3) 周辺連携事業

① 東京体育館（16事業）

	事業名	期間	事業内容
1	国立競技場大規模イベントとの連携	要望に応じて 適宜実施	国立競技場での陸上競技大会実施時に本施設の陸上競技場をサブトラック等として貸出に向けて協議する。
2	国立競技場連携スタジアムツアー	適宜	国立競技場が主催するスタジアムツアーとの連携に向けて国立競技場と協議する。
3	国立競技場との一体的なイベントの開催	適宜	国立競技場との一体的なイベントや賑わいの創出について国立競技場等と協議・検討する。
4	大規模災害など有事の際の連携	通年	災害時等の対応に備え、国立競技場との連絡体制を構築し、役割分担や協力体制の整理をするため国立競技場と調整する。
5	神宮外苑スポーツ施設スポーツツーリズム	適宜	他県から来る修学旅行生等が神宮外苑地域のスポーツ施設を知り、学ぶことができるような機会の提供に向けて、関係団体と協議する。
6	神宮外苑地区連絡協議会参加施設との広報協力	適宜	神宮外苑地区連絡協議会に参加し、情報交換等を行うとともに、他施設イベントとの広報連携などの実施に向けて調整する。
7	神宮外苑地区ランニングステーション活用	通年	神宮外苑地区のランナー向けのランニングステーションとして、個人使用施設の更衣室を提供する。
8	千駄ヶ谷大通り商店街との地域魅力向上のための包括協定	適宜	千駄ヶ谷大通り商店街との包括協定等に基づき、商店街主催の夏祭り等への協力、警察・消防とも連携した防災訓練などを実施する。
9	スポーツの日記念事業における近隣地区との連携	年1回	10月のスポーツの日記念事業の際、近隣地区と連携し、商店街のキッチンカー、近隣のアパレルショップ等による出店などを実施する。
10	(公社)日本将棋連盟との連携	適宜	(公社)日本将棋連盟の協力を得て、島しょ地区での将棋教室やスポーツの日記念事業の際の将棋指導を実施する。
11	地域交流イベントへの参加	適宜	商店街からの要請に基づき、「渋谷おとなりサンデー」などの地域交流イベントに参加・協力する。
12	近隣施設との広報協力	適宜	JR千駄ヶ谷駅、国立能楽堂、津田塾大学等の近隣施設と行事予定表の掲示やチラシ・ポスターの配布など、相互に広報協力を行う。
13	利用者に対する近隣施設紹介	適宜	本施設のデジタルサイネージへの近隣施設紹介マップの掲出などについて、商店街等と調整する。
14	神宮外苑地区ウォーキングイベントへの協力	適宜	JRが実施するウォーキングイベントに対し、必要に応じてグッズや休憩場所の提供を行い、本施設のPRにつなげる。
15	陸上競技場多目的コートの有効活用	適宜	多目的コートの空き時間に、園庭が無い近隣保育園・幼稚園の園庭として活用できるよう施設提供を行う。（再掲）
16	その他関係団体との連携	通年	(一社)渋谷区医師会と連携し、健康体力相談事業を実施する。（後掲）

② 駒沢オリンピック公園総合運動場（7事業）

	事業名	期間	事業内容
1	アーバンスポーツ初心者講習会	2回	小・中学生を対象に、アーバンスポーツ（スケートボード・BMX・インラインスケート等）の初心者講習を実施し、マナー啓発とアーバンスポーツの健全な普及・振興を図る。
2	ハーフマラソン	1回	公園とスポーツ施設を一体利用したランニングイベントを実施し、日頃のランニングの成果を確認するとともにスポーツに親しむ機会を提供する。
3	防災フェスタ	1回	公園、地元消防・警察等と連携し、防災公園にある体育施設として、近隣住民等を対象に、防災・減災に役立つイベントを実施し、防災意識の向上を図る。
4	ランニングステーション	通年	ランナーやサイクリストなどの公園利用者向けのランニングステーションとして、トレーニングルームのシャワーや更衣室を提供する。
5	近隣警察・消防への訓練場所提供	通年	警察署・消防署の訓練（制圧逮捕訓練や大型車訓練等）に対し、訓練場所として駐車場を提供する。
6	玉川地域官公署等連絡協議会	通年	世田谷区をはじめ地域の行政機関等で定期的に行われる玉川地域官公署等連絡協議会に参加、情報交換等を行うとともに、各種事業等の広報協力依頼を行う。
7	大規模イベントにおける近隣大学・地元商店街等の協力	適宜 1回以上	「スポーツの日記念事業」等の大規模イベントに、近隣大学のサークルのステージ出演やボランティア参加、地元商店街出店等の機会を設定し、地域の賑わいを創出する。

※ 上記事業の他に、指定管理者としてコンソーシアムを組む一般社団法人東京都レクリエーション協会により、利用者のニーズに合わせた多彩なプログラムの提供を予定している

③ 東京武道館（12事業）

	事業名	期間	事業内容
1	東綾瀬公園との広報連携	通年	当館イベント開催時において、東綾瀬公園のブース設置や、チラシ・ポスター等の相互広報協力を行う。
2	東綾瀬公園とのフィットネスプログラム連携事業	年1回	東綾瀬公園において当館実施のヨガ、ズンバなどのフィットネスプログラムを実施し、地域との連携を深める。
3	綾瀬地区ランニングステーション活用	通年	ランナー向けのランニングステーションとして、個人使用施設の更衣室を提供する。
4	綾瀬商店街振興組合ほかとの広報協力	通年	綾瀬地区の商店街等と相互広報協力を実施する。
5	スポーツの日における近隣地区との連携	年1回	スポーツの日において、綾瀬地区の商店街等にチラシ・ポスター掲出及び出店を依頼するなど、地域との連携を深めていく。
6	綾瀬警察署による講習会への協力	適宜	綾瀬警察署によるテロ対策訓練のほか、地域住民を対象とした防犯講習会や安全講習会に場所を提供し、地域の安全安心に寄与する。
7	足立区との防災・環境に対する連携	適宜	足立区総合防災訓練や綾瀬地区防犯・美化キャンペーンに参加する。
8	近隣学校への施設提供	適宜	東綾瀬中学や綾瀬小学校などの部活動に対して各室場を提供する。
9	地域サークルとの協力	適宜	地域サークルの絵画や書道などの作品を館内へ展示するとともに、当館主催のイベントにおいて発表の場を提供する。
10	足立区スポーツ推進委員との共同事業	年1回	足立区スポーツ推進委員と連携し、地元小中学生を対象としたニュースポーツの体験教室を開催する。
11	東京武道館写真コンテスト	年1回	東京武道館の外観、内観、武道大会など武道館に関する写真コンテストを開催し、応募された写真は広報等に活用するなど、武道館の魅力を広く発信していく。
12	和研修室などを活用したフィットネスプログラムの実施	年1回	和研修室等でヨガなどのフィットネスプログラムを開催し、施設の有効活用を行う。

④ 東京アクアティクスセンター（16事業）

	事業名	期間	事業内容
1	★ 臨海地域の基幹施設としての取組	随時	臨海地域の都立スポーツ施設と連携し、施設利用者拡大に関して協力し相互の社会的認知拡大を図る。
2	★ 国際水泳場との連携	随時	近接県にある国際水泳場とも連携し、施設運営等に関し情報交換を行い、施設の効率的・効果的な運営を図る。
3	ニュースポーツイベント	年1回	辰巳の森海浜公園と連携し、にぎわい創出と地域からのスポーツ振興を図るため、ニュースポーツの体験イベントを実施する。
4	ガイドツアー（東京2020大会施設等見学）	年1回	有明テニスの森公園等と連携し、大会レガシーの継承を図るため、「臨海スポーツゾーン」の東京2020大会会場を巡るツアーを実施する。
5	周辺施設との相互情報発信	通年	辰巳の森海浜公園や都立施設と連携し、デジタルサイネージでの放映、パンフレット設置やパネル展示等により、各施設の魅力や催物情報等を相互で発信する。
6	子供ヨット体験	年1回	若洲海浜公園ヨット訓練所と連携し、ジュニア世代を対象に、スポーツ振興を図るため、ヨット体験を実施する。
7	ランニングステーション	通年	公園利用者や地域のランナー・ウォーカーに対して、個人利用施設開放時に更衣室の利用を可能とし、地域のスポーツ拠点としての定着を図る。
8	ヨガイベント	年1回	辰巳の森海浜公園と連携し、スポーツ実施率の低い層への訴求、スポーツ実践のきっかけづくりを図るため、ヨガイベントを実施する。
9	シェアサイクルの運用	通年	本施設及び周辺施設へのアクセス向上、周辺地域一帯の回遊性を高め、地域の活性化に寄与するため、シェアサイクルのポートを新たに設ける。
10	定期的な連絡会（連絡会を通じた周辺施設との連携）	通年 12回程度	辰巳の森海浜公園と連携し、利用者に必要な情報を提供するなどの効果的な施設運営を図るため、今後の行事や管理運営等を確認する連絡会を実施する。
11	合同防災訓練等による安全性の向上	年1回	辰巳の森海浜公園と連携し、災害時における防災、減災への備えとして防災機能を高め、安全性の向上を図るため、合同で防災訓練等を実施する。
12	★ スペースシェアリング	随時	周辺施設等と相互にスペースシェアを行い、各施設の認知度の向上や魅力の発信により新たな利用者の獲得を図るとともに、遊休スペースの活用促進を図る。
13	★ 観戦招待事業（地元枠）	随時	地元の教育機関と連携し、水泳競技大会への観戦に招待することで地域に根ざした地元施設とする。
14	★ ガラスアート体験事業	10月	エントランスのガラス面においてガラスアート等を体験する機会を設け、地元都民が愛着をもてる施設とする。
15	★ 地元小中学生交流事業	随時	地元の小中学校と連携し、水泳場の視察・仕事体験等の受け入れや、アウトリーチにより交流を行うなど、教育活動への積極的な協力を行う。
16	地域クリーンウォーキング	年1回	地域の魅力向上・活性化を促進するため、近隣公園を含めた周辺地域において、ウォーキングを兼ねた清掃活動を実施する。

★は新規事業

(4) スマイル自主事業

	事業名	1事業当たりの規模		事業内容
		回数	定員(人)	
スポーツ等普及事業	1 島しょ地区スポーツ・文化普及事業	1	50	伊豆諸島・小笠原諸島における子供から大人までを対象に、将棋やスポーツの指導を受ける機会を提供する。
	2 東京都少年少女サッカーフェスティバル	1	2,800	都民の心身の健全な発達を図るため、(公財)東京都サッカー協会との共催により、小学生及び保護者のサッカーチームによるミニサッカー交流大会を開催する。
	3 水泳の日	1	1,000	(公財)東京都水泳協会と共催し、各種参加型・観覧型コンテンツを用意して、1日をとおして水泳に親しむ機会と場所を提供し、水泳競技の更なる発展に寄与する。
	4 ランニングフェスティバル	1	3,000	移植医療を受けた方、障害者及び一般ランナーを対象にランニングイベントを実施し、皆で共に走る喜びを分かち合える機会と場所を提供する。
	5 サイクルフェスティバル	1	200	都民を対象に、自転車競技への関心を深めるとともに、障害者スポーツの魅力を発信するため、各種体験やデモンストレーションを披露する大会を開催し、自転車競技の更なる普及・発展と、障害者スポーツへの理解を促進する機会を提供する。
	6 ダンススポーツフェスティバル	1	400	一般都民を対象に、ダンススポーツ競技大会を実施し、ダンススポーツの普及及びスポーツ人口の拡大に寄与する。
普及PR事業	7 事業団広報誌の発行	4	—	事業団が行うスポーツ振興事業、自主事業等の実施概要や参加者募集、東京都が行うスポーツ事業の紹介等を扱う事業団広報誌を年4回発行する。
	8 スマイルスポーツメールマガジンの配信	通年	—	メールマガジンを随時発行し、事業団のスポーツ事業の取組をPRするとともに事業の参加者増を図る。
	9 マスコットキャラクターを活用した広報活動	通年	—	マスコットキャラクター「SUSIE(スージー)」を活用し、各イベントの盛り上げやSNSキャンペーンなどを展開する。

(5) スポーツムーブメント醸成事業

事業名	期間	事業内容
スポーツ東京案内事業	通年	1 「SPOPITA」による情報発信 WEBサイト「SPOPITA」においてスポーツ施設検索システムの改良やスポーツイベント等の情報量拡充による利便性向上に加え、SNS等による積極的な情報発信を行う。 2 指導者派遣 区市町村等が実施するスポーツイベント等への指導者派遣について、メニューの拡大等を図りながら引き続き実施していく。 3 戦略的広報 メディアリレーション及び広報戦略の知見を有する民間の戦略広報アドバイザーと連携し、当事業団の広報力の強化と認知度向上を図っていく。
スポーツ気運継承事業	通年	「SPOPITA」と連動した取組として、当事業団、都、区市町村等が実施する複数のスポーツイベント等への参加を促進するキャンペーン「SPOPITAスタンプラリー」を展開する。
スポーツフェスタ	10月・3月(予定)	都民のスポーツへの理解と関心を深め、スポーツ活動への意欲を高めることを目的として、気軽に参加できるプログラムを主体としたイベントを東京体育館及び多摩エリア等で実施する。
TOKYOウォーク2024	9月から3月(予定)	多摩地域を含めた、都内の魅力あるエリアにウォーキングコースを設け、都民の健康づくりとスポーツへの興味、関心を喚起するウォーキング大会を実施する。

事業名	期間	事業内容
都立特別支援学校活用促進事業	通年	障害のある方やパラスポーツ団体等が、身近な地域でスポーツ活動ができるよう、学校教育活動に支障のない平日夜間・土日祝日の時間帯について都内にある特別支援学校の体育施設の活用を促進する。また、都立特別支援学校をパラスポーツの拠点の一つと位置付け、児童・生徒・地域住民等が参加できる体験教室を開催する。 1 体育施設の活用 事前に団体登録を行ったパラスポーツ団体や障害者団体等に、事業実施校の体育施設の貸出を行い、スポーツ活動の場を提供する。 2 体験教室 障害の有無に関わらず個人で参加することができるスポーツ体験教室を開催する。
スポーツ推進企業 Enjoy Sports 促進事業（スポーツインストラクター等派遣カタログ）	通年	東京都スポーツ推進企業に派遣するスポーツインストラクター等についてのカタログを作成し、企業からの申請に基づき派遣を行う。
東京都スポーツ施設予約システム	通年	当事業団の指定管理施設を含む都立スポーツ施設の予約等が一体的に行える「東京都スポーツ施設予約システム」の管理・運用を行う。
都立スポーツ施設映像配信システム	通年	いつでもどこでもスポーツを「みる」「支える」ことができるよう都立スポーツ施設で開催される、大会等を撮影・配信する「都立スポーツ施設映像配信システム」の構築・運営を都と共同で実施する。
東京都シニア・コミュニティ交流大会	1 回	シニア世代の生きがいを創出し、いきいきとした生活の実現に向けて、趣味活動等を通じ、地域コミュニティ等とつながりが持てるよう交流大会を開催する。

（６）都立スポーツ施設連携促進事業

事業名	期間	事業内容
SPOPITAを活用した都立スポーツ18施設の発信力強化	通年	SPOPITAを活用し、都立スポーツ施設の広告動画の作成や写真素材の充実等を図り、都立スポーツ18施設の情報を発信する。
SPOPITAのX・LINE等SNSを活用した各施設の情報発信	通年	SPOPITAのX、LINE、Instagram等各種SNSを活用し、各施設のスポーツイベント情報等を継続的に発信する。
都立スポーツ18施設のガイドブック（デジタルブック）更新	10月から3月（予定）	各施設のスペックや活用事例等を一体的に紹介するガイドブックを有明アーバンスポーツパークの開業に合わせて更新し、国際大会等の誘致に向けた営業活動や施設利用者向けのPR等、都立スポーツ18施設の戦略的な広報に活用する。
デジタルアンケートの作成・展開	10月から3月（予定）	各施設で行っている団体及び個人利用者へのアンケートの共通化とデジタル化により、アンケートの実施効率化とともに、効果的な分析及びDX化を図る。
スポーツ用具やアーカイブ資産等の施設間共有	通年	各施設で所有・整備している競技用備品やアーカイブ資産等の情報をリスト化・共有し、施設間貸借の調整を行う。
コンシェルジュ窓口機能の拡充	通年	施設利用における総合的な窓口機能を設置し、競技団体等の要望に対し適切な案内・調整を行い、さらなる利用者ニーズへの対応及び利便性等の向上を図る。
★アーバンスポーツ体験プログラム	通年 計6回（予定）	都立スポーツ施設を活用し、アーバンスポーツ等の普及啓発に繋げるとともに、各施設の認知度向上を図っていく。
共通ロゴ・キャラクター等の活用	通年	共通ロゴ・キャラクター等を活用し、都立スポーツ施設への愛着や認知度の向上、一層の利用促進に繋げる。
パートナーシップ会議の事務局	通年	施設間の連携強化、施設運営のレベルアップを図ることを目的とした都立スポーツ施設の管理者等を集めた情報交換会の事務局を担う。

★は新規事業

(7) その他

事業名	施設名	事業内容
スポーツの日 記念事業	東京体育館 駒沢オリンピック公園総合運動場 東京武道館 東京アクアティクスセンター	10月のスポーツの日を中心に、各館においてトレーニングルーム等を無料開放するほか、新体力テスト、スポーツ・武道の体験指導等を行う。
健康体力相談事業	東京体育館	1 全身持久力測定（直接法・間接法）、筋力測定 渋谷区医師会の医師等が在駐し、測定機器による測定を実施するとともに、専門家が測定データに基づくトレーニングメニューを作成し、提供する。 2 栄養相談 管理栄養士によるスポーツ栄養学に基づくカウンセリングを実施する。 対象：15歳以上（中学生は除く。）
武道相談事業	東京武道館	武道師範（柔道・剣道・弓道）等が、初心者から経験者を対象に、武道に関する全般的な指導・助言及び相談に直接応じ、武道の普及振興を図る。

3 スポーツ国際交流事業を通じた次世代のスポーツ選手の育成

(1) スポーツ国際交流事業

事業名	期間	事業内容
2024東京国際ユース(U-14) サッカー大会	5月 (予定)	次世代のトップアスリートを目指すユース世代(U-14)のサッカー選手が、海外の強豪ユースチームとの試合を通じて技術的・精神的に向上するとともに国を越えた相互理解を深める等、競技力向上と次世代育成に貢献する。また、大会開催を通じて「スポーツフィールド・東京」をアピールする。併せて、被災地4県からも選手団を招き参加各都市との交流試合を行うことで、被災地との交流促進を図る。 なお、昨年度に引き続き、会場を東京から福島県のJヴィレッジに移して開催する。
2024ジュニアスポーツアジア交流大会 (バドミントン・卓球)	8月 (予定)	アジアのバドミントン及び卓球のジュニア選手に対し、試合を通じて競技力向上を図るとともに、国を越えた相互理解を深める場を提供し、次世代育成に貢献する。また、大会開催を通じて「スポーツフィールド・東京」をアピールする。併せて、被災地4県から選手団を招き参加各都市との交流試合を行うことで被災地との交流促進を図るとともに、障害のある選手もない選手も一体となって交流できる大会を開催する。
柔道指導者派遣事業	10月から3月 (予定)	ジュニア選手の技術力向上及び指導者のスキルアップに貢献することを目的として、東京の優れた柔道指導者等を海外都市に派遣する。

Ⅱ 公２事業（2025 年デフリンピック大会の準備・運営事業）

1 2025 年デフリンピック大会開催に向けた準備・運営事業

実施項目	期間	事業内容
施設利用調整等（仮設整備や施設使用に係る検討・調整等）	通年	競技会場内における更衣室やドーピング検査に必要な場所等の仮設整備の検討や施設使用に係る調整等を行う。
輸送等（競技会場等までの輸送、警備に係る検討等）	通年	選手団の競技会場等への輸送に係る調整や競技会場の警備に係る検討等を行う。
オペレーション（大会運営に係る計画の策定、各種会議の開催、競技・会場運営の準備、式典の計画、宿泊施設の提供に係る準備、出入国調整、ボランティアの配置・運用等に係る準備等）	通年	大会運営に係る計画を策定するとともに、SD（スポーツディレクター）視察・選手団団長セミナーの運営を行う。競技運営の検証・調整や各会場オペレーション、開閉会式及び表彰式の実施に向けた調整を進める。選手団からの宿泊予約の受付、出入国対応に向けた調整、IDカードの発行準備、ボランティア配置・運用の準備等を進める。
管理・広報（大会情報の発信、大会収入に係る企画・実施、事務局の運営等）	通年	WEBサイトの更新・運営や寄附・協賛のほか大会収入確保に向けた取組等を行う。また、事務局の運営等を行う。

Ⅲ 収益事業等

1 令和6年度 各体育施設におけるスポーツ活動以外の主な予定

施設名	大会名等	主催者	日程
東京体育館	BRIGHT HOME PARTY in JAPAN	株式会社ハヤシインターナショナルプロモーションズ	4/20～21
	MAN WITH A MISSION presents「FUN WITH A MISSION TOUR 2024」追加公演	株式会社クリエイティブマンプロダクション	6/8～9
	令和6年度障害者就職面接会	東京労働局職業安定部	6/26
	ACTORS☆LEAGUE in Basketball 2024	株式会社キョードー東京	9/3
	ちょこらび JAPAN DOMINATION TOUR 2024 FINAL	株式会社ディスクガレージ	12/14
東京武道館	令和6（2024）年度入学式	学校法人帝京科学大学	4/2
	令和6年度職員研修「新任研修（記念講演）」	特別区人事・厚生事務組合	4/8
	大相撲巡業足立場所（仮）	全栄企画株式会社	10/1
	第57回電気工事士技能競技大会	（一社）東京電業協会	11/13
	令和7年足立区「二十歳の集い」	足立区	1/8
	令和6（2024）年度卒業式	学校法人帝京科学大学	3/15

2 利用者サービス事業

施設名	自動販売機	貸ロッカー	店舗	駐車場
東京体育館	39基(注)1	48個(注)2	レストラン・軽食・売店 4か所(注)3	3か所(注)4
駒沢オリンピック公園総合運動場(注)5	55基(注)6	シューズロッカー 120人分他	—	2か所
東京武道館	18基	8か所(注)2	売店 1か所	1か所
東京アクアティクスセンター(注)7	22基(注)8	—	—	1か所

この他に、撮影許可等あり

(注)1 別に株式会社ティップネスが運営する自動販売機あり

(注)2 別に株式会社ティップネスが運営する貸ロッカーあり

(注)3 別に株式会社ティップネスが運営する店舗あり

(注)4 うち1か所は駐輪場

(注)5 別にキッチンカー出店・シェアサイクル等の運営あり

(注)6 施設整備状況により変動の可能性あり

(注)7 別にキッチンカー出店・オリジナルグッズ販売・カプセルトイ販売・シェアサイクル等の運営あり

(注)8 別にオリジナルグッズ販売用及びセントラルスポーツ株式会社が運営する自動販売機あり

令和6年度

予 算 書

予算書（総括表）

令和6年度予算書（総括表）

（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

（単位：千円）

科 目	公益目的事業会計		公益目的事業 会計小計
	スポーツ事業会計	デフリンピック事業会計	
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	0	0	0
②特定資産運用益	0	0	0
③事業収益	3,054,992	0	3,054,992
指定管理料収益	2,169,413		2,169,413
体育施設利用料収益	823,394		823,394
施設使用料収益			0
受取光熱水費収益	1,194		1,194
参加料収益	35,877		35,877
協賛金収益	1,770		1,770
広告料収益			0
管理手数料収益			0
負担金収益	7,044		7,044
受託金収益	16,300		16,300
④受取補助金等	257,509	194,361	451,870
⑤受取負担金	1,064,542	928,585	1,993,127
⑥受取寄付金	0	0	0
⑦雑収益	67	0	67
経常収益計	4,377,110	1,122,946	5,500,056
(2) 経常費用			
①事業費	4,691,490	1,122,946	5,814,436
給料手当	454,061	104,579	558,640
臨時雇賃金			0
賞与引当金繰入額	26,305	8,845	35,150
退職給付費用			0
福利厚生費	117,779	80,376	198,155
会議費	490		490
共益費	136		136
旅費交通費	9,597	74,105	83,702
通信運搬費	29,730	6,026	35,756
減価償却費	4,289		4,289
消耗什器備品費	714,242		714,242
消耗品費	57,746	3,581	61,327
修繕費	3,808		3,808
印刷製本費	23,185	500	23,685
新聞図書費	649		649
光熱水費	619,496	7,483	626,979
賃借料	107,861	98,291	206,152
保険料	6,644	1,661	8,305
諸謝金	30,721	2,267	32,988
租税公課	14,068	2,200	16,268
支払負担金	1,528,224		1,528,224
工事請負費			0
委託費	931,854	729,937	1,661,791
支払手数料	9,859	2,895	12,754
諸会費	160	200	360
雑費	586		586

(単位：千円)

収益事業等会計	法人会計	合計	備考
付帯事業会計			
0	900	900	
0	0	0	
668,726	152,397	3,876,115	
	152,397	2,321,810	
231,492		1,054,886	
154,835		154,835	
10,186		11,380	
		35,877	
		1,770	
		0	
88,513		88,513	
183,700		190,744	
		16,300	
0	0	451,870	
0	39,680	2,032,807	
0	0	0	
488	0	555	
669,214	192,977	6,362,247	
354,834	0	6,169,270	
13,913		572,553	
		0	
900		36,050	
		0	
2,586		200,741	
		490	
		136	
10		83,712	
1,361		37,117	
1,905		6,194	
4,000		718,242	
3,627		64,954	
781		4,589	
		23,685	
		649	
184,051		811,030	
5,234		211,386	
16		8,321	
		32,988	
20,140		36,408	
103,204		1,631,428	
525		525	
4,553		1,666,344	
8,028		20,782	
		360	
		586	

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計		公益目的事業 会計小計
	スポーツ事業会計	デフリンピック事業会計	
②管理費	0	0	0
役員報酬			
給料手当			
臨時雇賃金			
賞与引当金繰入額			
退職給付費用			
福利厚生費			
会議費			
共益費			
旅費交通費			
通信運搬費			
減価償却費			
消耗什器備品費			
消耗品費			
印刷製本費			
新聞図書費			
光熱水費			
賃借料			
保険料			
諸謝金			
租税公課			
支払負担金			
工事請負費			
委託費			
支払手数料			
諸会費			
雑費			
経常費用計	4,691,490	1,122,946	5,814,436
当期経常増減額	△ 314,380	0	△ 314,380
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	314,380	0	314,380
税引前一般正味財産増減額	0	0	0
法人税等	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	△ 313,577	0	△ 313,577
一般正味財産期末残高	△ 313,577	0	△ 313,577
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	1	1
デフリンピック運営準備資金	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	1	1
指定正味財産期首残高	15,109	0	15,109
指定正味財産期末残高	15,109	1	15,110
III 正味財産期末残高	△ 298,468	1	△ 298,467

(単位：千円)

収益事業等会計	法人会計	合計	備考
付帯事業会計			
0	192,707	192,707	
	15,444	15,444	
	28,763	28,763	
	1,632	1,632	
	2,220	2,220	
	4,930	4,930	
	13,681	13,681	
	50	50	
	1,526	1,526	
	1,169	1,169	
	7,148	7,148	
	1,666	1,666	
	6,883	6,883	
	3,159	3,159	
	1,591	1,591	
	66	66	
	2,034	2,034	
	36,614	36,614	
	433	433	
	6,200	6,200	
	5,453	5,453	
	750	750	
		0	
	46,704	46,704	
	3,716	3,716	
	125	125	
	750	750	
354,834	192,707	6,361,977	
314,380	270	270	
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	
△ 314,380	0	0	
0	270	270	
0	270	270	
0	0	0	
251,323	583,228	520,974	
251,323	583,228	520,974	
0	0	1	
0	0	0	
0	0	0	
0	0	1	
0	500,000	515,109	
0	500,000	515,110	
251,323	1,083,228	1,036,084	

資金調達及び設備投資の見込みについて

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

当事業年度における借入の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当事業年度における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。



古紙配合率70%
白色度70%再生紙を使用しています



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

令和6年度 事業計画及び予算について

令和6年3月27日
公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

事業計画

事業運営方針

- 東京都の政策連携団体として、誰もがスポーツを楽しみ、スポーツの力を享受できる「スポーツフィールド・東京」の実現に向け、更なるスポーツ振興を図る。
- 指定管理者として蓄積してきたノウハウを生かし、より良い施設運営や「スポーツ振興事業」、「自主事業」、「周辺連携事業」などの事業展開を積極的に図っていく。
- 令和5年度から新たに開始した「都立スポーツ施設連携促進事業」をはじめとする都のスポーツ施策推進事業を着実に実施する。
- 2025年デフリンピック大会の開催に向け、一般財団法人全日本ろうあ連盟及び東京都と連携し、準備業務を着実に進める。

指定管理者受託事業

- スポーツ振興事業:スポーツ実施率向上に向け、ターゲットを明確にした「シニアのためのスポーツクリニック(東体)」、「障害のある人のための武道体験(武道館)」等 96事業

事業団自主運営事業

- 自主事業:各施設の特性を生かした「東京体育館卓球大会(東体)」、「武道&茶道体験教室(武道館)」等 20事業
- 周辺連携事業:周辺施設や地域と連携した、「アーバンスポーツ初心者講習会(駒沢)」、「子供ヨット体験(アクア)」等 51事業
- スマイル自主事業:「島しょ地区スポーツ・文化普及事業」などのスポーツ等普及事業、「マスコットキャラクター(SUSIE)を活用した広報活動」などの普及PR事業 10事業

都のスポーツ施策推進事業

- 「SPOPITA」等を活用した都立スポーツ18施設の一体的な情報発信や、施設横断的なアーバンスポーツ体験プログラムなどの事業の実施
- 事業団が主体となり実施している「スポーツフェスタ」「TOKYOウォーク」を引き続き実施
- 「東京国際ユース(U-14)サッカー大会」を福島県Jヴィレッジで開催
- 「都立特別支援学校活用促進事業」について規模を拡大し、33校で実施

収益事業

- 個人利用施設の運営及び駐車場の運営等を通じて、利用者サービスを効果的に展開

2025年デフリンピック大会の準備・運営事業

- 令和5年度に策定した開催基本計画の考え方に基づき、施設利用調整や輸送、競技・会場等のオペレーション、管理・広報等の各種準備・調整を着実に進める。
- 国や都の指針・ガイドラインを踏まえ、国際スポーツ大会の運営組織として構築したガバナンス体制のもと、各種取組を確実に実施する。

予算

- スポーツ事業会計は、主に駒沢オリンピック公園総合運動場における体育館改修工事等に伴う指定管理料の増により、予算規模は増となった。
- デフリンピック事業会計は、令和5年度に策定された開催基本計画に基づき大会準備が本格化するため、予算規模は増となった。
- 収益事業等会計は、料金改定等により、予算規模は増となった。
- 指定管理を受託した4つのスポーツ施設の管理運営業務に万全を期すとともに、スポーツ推進事業をはじめとした取組を着実に推進するため、経営の安定と自立に配慮しつつ堅実な予算を編成した。

(単位:千円)			
区 分	令和6年度	令和5年度	差し引き
経常収益	6,362,247	4,701,374	1,660,873
スポーツ事業会計	4,377,110	3,560,355	816,755
デフリンピック事業会計	1,122,946	391,456	731,490
収益事業等会計	669,214	570,281	98,933
法人会計	192,977	179,282	13,695
経常費用	6,361,977	4,755,834	1,606,143
スポーツ事業会計	4,691,490	3,848,537	842,953
デフリンピック事業会計	1,122,946	391,456	731,490
収益事業等会計	354,834	336,829	18,005
法人会計	192,707	179,012	13,695
当期経常増減額	270	△ 54,460	54,730
スポーツ事業会計	△ 314,380	△ 288,182	△ 26,198
デフリンピック事業会計	0	0	0
収益事業等会計	314,380	233,452	80,928
法人会計	270	270	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
法人税等	270	270	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 54,730	54,730
一般正味財産期首残高	520,974	535,156	△ 14,182
一般正味財産期末残高	520,974	480,426	40,548
当期指定正味財産増減額	1	57,730	△ 57,729
指定正味財産期首残高	515,109	515,109	0
指定正味財産期末残高	515,110	572,839	△ 57,729
正味財産期末残高	1,036,084	1,053,265	△ 17,181

理 事 会
第 2 号 議 案

常勤嘱託員設置要綱第 5 条第 1 項第 5 号に基づく承認について

下記のとおり議案を提出する。

記

1 議案内容

別紙の者 2 名を常勤嘱託員として採用するに当たり、常勤嘱託員設置要綱第 5 条第 1 項第 5 号に基づく承認を行う。

採用日 令和 6 年 4 月 1 日

令和 6 年 3 月 2 7 日

提 出 者 公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団
理 事 長 塩 見 清 仁

提 案 理 由

常勤嘱託員の採用は、常勤嘱託員設置要綱第 5 条第 1 項第 4 号により、年齢が 6 5 歳未満の者と規定されているが、当該年齢を上回る者を採用するため、同第 5 号に基づく理事会の承認を求める。

理 事 会
第 3 号 議 案

常勤嘱託員設置要綱第6条第4項に基づく承認について

下記のとおり議案を提出する。

記

1 議案内容

別紙に記載する常勤嘱託員を引き続き雇用するに当たり、常勤嘱託員設置要綱第6条第4項に基づく承認を行う。

令和6年3月27日

提 出 者 公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団
理 事 長 塩 見 清 仁

提 案 理 由

常勤嘱託員の雇用期間は、常勤嘱託員設置要綱第6条第2項により、その者の年齢が満65歳に達する年度の3月31日までと規定しているが、引き続き雇用するため、同第4項に基づく理事会の承認を求める。

理 事 会
第 4 号 議 案

常勤役員の報酬年額について

下記のとおり議案を提出する。

記

1 議案内容

常勤の役員に支払う報酬の年額は、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団役員等の報酬等に関する規程の別表に定める総額の範囲内において理事長が決定する。

令和6年3月27日

提 出 者 公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団
理 事 長 塩 見 清 仁

提 案 理 由

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団役員等の報酬等に関する規程第4条第1項に基づき議決を求める。

理 事 会
第 5 号 議 案

一般法人法第84条第1項に基づく承認について

下記のとおり議案を提出する。

記

1 議案内容

別紙に記載する取引に対し、一般法人法第84条第1項に基づく承認を行う。

令和6年3月27日

提 出 者 公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団
理 事 長 塩 見 清 仁

提 案 理 由

当事業団の理事長が代表を務める他団体等との取引は利益相反取引に当たることから、一般法人法第84条第1項に基づく理事会の承認を求める。

一般法人法第84条に定める取引一覧（令和 6 年度）

	件 名	取引の相手方	内 容	期 間	予定金額
1	駒沢オリンピック公園総合運動場共同事業体協定書	一般社団法人 東京都レクリエーション協会 （株式会社オーエンスを含めた三者協定）	駒沢オリンピック公園総合運動場の第 5 期指定管理について、コンソーシアムを組む全者において必要な事項を定めた協定を締結する。	令和5年4月1日～ 令和10年3月31日 （継続）	—
	同 細目協定	一般社団法人 東京都レクリエーション協会	駒沢オリンピック公園総合運動場の第 5 期指定管理について、コンソーシアムを組む二者間で必要な事項を定めた細目協定を締結し、一般社団法人東京都レクリエーション協会に対し、業務に必要な分担金を支払う。	令和5年4月1日～ 令和10年3月31日 （継続）	9,071,000円 ／年
2	東京都レクリエーション協会の事業に係る支援業務の受託	一般社団法人 東京都レクリエーション協会	一般社団法人東京都レクリエーション協会が実施するレクリエーション事業、広報活動等への支援業務を事業団が受託し、その経費を受け取る。	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	8,800,000円
3	令和 6 年度スポーツ東京案内事業の実施に係る協定	公益財団法人 東京都スポーツ協会	スポーツ東京案内事業における指導者派遣事業について、公益財団法人東京都スポーツ協会と協定を締結し、同協会に対し、業務に必要な分担金を支払う。	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	1,827,132円 （※）
4	令和 6 年度スポーツ東京案内事業の実施に係る協定	一般社団法人 東京都レクリエーション協会	スポーツ東京案内事業における指導者派遣事業について、一般社団法人東京都レクリエーション協会と協定を締結し、同協会に対し、業務に必要な分担金を支払う。	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	5,888,600円 （※）
5	令和 6 年度スポーツ推進企業 Enjoy Sports 促進事業（スポーツインストラクター等派遣カタログ）の実施に係る協定	一般社団法人 東京都レクリエーション協会	スポーツ推進企業 Enjoy Sports 促進事業におけるスポーツインストラクター等の派遣について、一般社団法人東京都レクリエーション協会と協定を締結し、同協会に対して、業務に必要な分担金を支払う。	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	500,000円 （※）
6	令和 6 年度事業団広報誌等への広告掲載など、広報活動の支援	公益財団法人 東京都スポーツ協会	公益財団法人東京都スポーツ協会の依頼に基づき、事業団広報誌等、事業団が所有する広報媒体を使用し、広報活動の支援を行い、その経費を受け取る。	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	220,000円 （※）

※ 本予定金額は上限額であり、事業の進捗によっては減額となる。

一般法人法（競業及び利益相反取引の制限）

第84条 理事は、次に掲げる場合には、理事会において、当該取引につき重要な事実を開示し、その承認を受けなければならない。

- 一 理事が自己又は第三者のために一般財団法人の事業の部類に属する取引をしようとするとき。
- 二 理事が自己又は第三者のために一般財団法人と取引をしようとするとき。
- 三 一般財団法人が理事の債務を保証することその他理事以外の者との間において一般財団法人と当該理事との利益が相反する取引をしようとするとき。

なお、第197条による読替規定により、「社員総会」を「理事会」に、「一般社団法人」を「一般財団法人」にそれぞれ読み替えている。

令和5年度第2回定時理事会 理事長の職務執行状況報告

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団定款第23条第3項に基づき、理事長の自己の職務の執行状況について、以下のとおり報告します。

常勤の理事長として、また、令和5年7月までは常務理事を兼務しながら、事業団の運営に関する一般方針の立案、特に重要な事業実施についての総覧を行った。

毎月1回程度、幹部職員を招集し、各館・各部署の現状把握や運営方針等を議論する経営会議やコンプライアンスに関する重要事項を検討・審議するコンプライアンス委員会、さらには、7月に発覚した駒沢オリンピック公園総合運動場における着服事故に係る検証委員会等を開催するなど、事業団の団体経営やコンプライアンスに係る業務を統括した。

また、事業団を代表する立場として、理事会、評議員会など法人の運営に必要な会議や主催事業等に出席した。

【主な会議・事業等（令和5年度）】

- 経営会議（計12回）
- コンプライアンス委員会（計2回）
- 駒沢オリンピック公園総合運動場事故検証委員会（計4回）
- 事務局及び各施設 事故防止検討会（計5回）
- 理事会（計10回 ※書面決議を含む。）
- 評議員会（計3回）
- 主な事業等
 - ・2023 東京国際ユース（U-14）サッカー大会
 - ・2023 ジュニアスポーツアジア交流大会
 - ・島しょ地区スポーツ・文化普及事業
 - ・サイクルフェスティバル
 - ・ジュニアベースボール大会
 - ・U-18 将棋スタジアム
 - ・新規事業職員提案における理事長賞の授与

令和6年3月27日
東京都スポーツ文化事業団
理事長 塩 見 清 仁

令和５年度第２回定時理事会 常務理事の職務執行状況報告

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団定款第２３条第３項に基づき、常務理事の自己の職務の執行状況について、以下のとおり報告します。

令和５年８月１日に新たに常務理事に選定され、業務執行理事として、理事会、評議員会をはじめ、経営会議やコンプライアンス委員会等に出席するとともに、重要な事業や契約に関する意思決定を行うなど、円滑に団体業務を遂行した。

また、デフリンピック準備運営本部長として、国の指針や都のガイドラインを踏まえたガバナンス体制を構築し、着実に運用するとともに、大会開催に向けた必要な準備やサービスの考え方を示した「開催基本計画」をアスリートの意見も踏まえながら策定するなど、東京２０２５デフリンピックの開催準備を着実に進めた。

【主な会議・事業等（令和５年度）】

- 経営会議（計７回）
- コンプライアンス委員会（計２回）
- デフリンピック準備運営本部　コンプライアンス委員会（計３回）
- 駒沢オリンピック公園総合運動場事故検証委員会（計３回）
- 事務局及び各施設　事故防止検討会（計５回）
- 理事会（計５回）
- 評議員会（計１回）
- ２０２５年デフリンピック大会に係る大会準備連携会議（計５回）
- デフリンピック大会運営に係るアスリート会議（計２回）
- 主な事業等
 - ・「第２５回夏季デフリンピック競技大会　東京２０２５　大会概要」の策定
 - ・「第２５回夏季デフリンピック競技大会　東京２０２５　開催基本計画」の策定
 - ・寄附協賛の募集開始

令和６年３月２７日
東京都スポーツ文化事業団
常務理事　越　秀　幸

東京都スポーツ文化事業団 コンプライアンス委員会活動状況報告

1 第1回（令和5年10月13日）

駒沢オリンピック公園総合運動場事故検証委員会の報告書（案）について

2 第2回（令和6年3月7日）

（1）令和5年度コンプライアンス推進に関する取組結果

①重点取組事項

綱紀粛正

情報の適正管理及び事故防止の徹底

②コンプライアンス推進のための取組

ア 研修の開催

（ア）新規採用職員を含む個人情報保護研修の実施

（4月（新規採用職員向け対面研修）・6月（eラーニング）実施）

（イ）事業団コンプライアンス推進研修の実施（2月）

（ウ）コンプライアンスに係るeラーニングの実施（6月）

（エ）Pマークを取得するにあたっての個人情報保護に係る研修の実施（2月）

イ 職員への啓発の実施（4月から適宜実施）

事業団コンプライアンス基本方針等の規程、メール送信時の注意点、事故発生時の上司への報告の徹底、綱紀保持等について職員に周知

ウ 事業団コンプライアンス推進月間の実施（12月）

（ア）職員の意識啓発

（イ）チェックリストを用いた自己点検の実施

③事業団及び関係団体において発生した事故報告

（2）令和6年度コンプライアンス推進計画

①重点取組事項

綱紀粛正

情報の適正管理及び事故防止の徹底

健全な職場環境づくり

②コンプライアンス推進のための取組

ア職員への啓発

職員への周知（4月以降随時実施予定）

イ研修の開催

（ア）新規採用職員に対するコンプライアンス研修（4月）

（イ）情報セキュリティに係る研修（4月以降実施予定）

（ウ）事業団コンプライアンス推進研修（12月実施予定）

（エ）個人情報保護に係る研修（2月実施予定）

ウ事業団コンプライアンス推進月間の実施（12月予定）

（ア）職員の意識啓発

（イ）チェックリストを用いた自己点検の実施

（3）「事務局及び各施設 事故防止検討会」の検討状況について

- ・駒沢検証報告書における再発防止策について進捗管理
- ・各所属における課題の抽出や課題解決について検討
- ・都からの通知に基づく業務改善計画の進捗報告について、事故防止検討会でとりまとめ、四半期ごとに都に報告

東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部 コンプライアンス委員会活動状況報告

1 令和5年度コンプライアンス推進に関する取組結果

(1) コンプライアンス推進のための取組

①関係規程の整備及び適正な管理

コンプライアンスに係る各種規程の整備

②各種委員会の適切な運営

ア コンプライアンス委員会 3回開催（9月、11月、3月）

イ 利益相反マネジメント委員会 4回開催（10月、1月、2月、3月）

③役職員に対する継続的なコンプライアンス教育の実施

ア 役員向け研修 1回実施（11月）

イ 職員向け研修 4回実施（9月、10月、11月、3月）

④内部監査の実施

リスクアプローチの観点を踏まえた内部監査の実施と三様監査体制の整備

⑤適切な情報公開

ア 大会運営に関する情報や組織運営の基盤となる各種規程の公表

イ スポーツ庁の指針及び都のガイドラインに基づく取組状況一覧の公表

(2) コンプライアンス推進月間の実施（12月）

①チェックリストを用いた業務点検の実施

②職場討議及び意見交換の実施

2 令和6年度コンプライアンス推進計画

(1) コンプライアンス推進のための取組

①関係規程の整備及び適正な管理

ガバナンス確保に向けて関係規程の整備及び適正な管理・運用

②各種委員会の適切な運営

利益相反マネジメント委員会やコンプライアンス委員会などの適切な運営

③役職員に対する継続的なコンプライアンス教育の実施

ア 役職員向けのコンプライアンス研修を定期的の実施

イ コンプライアンス推進月間（12月）にチェックリストを用いた自己点検を実施し、コンプライアンスに係る職員の理解を促進

④利益相反の適切な管理

ア 着任時などに自己申告書を徴取し、利益相反取引を適切に管理

イ 利益相反管理チェックシートにより、制度等への理解状況を確認

ウ 人材採用及び配置について、適宜利益相反マネジメント委員会に付議し、利益相反を適切に管理

⑤内部監査の実施

ア 重点監査及び業務監査を実施し、適切なガバナンス体制を確保

イ 監事監査及び外部監査とともに、三者で定期的に意見交換を実施

⑥適切な情報公開

ア ホームページにおいて、大会運営に係る情報を継続的に発信

イ 組織運営の基盤となる各種規程や各種委員会資料などを主体的に公表

東京都スポーツ文化事業団の経営理念（案）

- ◆ 私たちは、生涯にわたるスポーツの普及振興を図り、都民に健康と感動をもたらすことで、活力ある豊かな明るい社会の実現に貢献します。
- ◆ 私たちは、東京都の政策連携団体として、東京におけるスポーツの振興を牽引するため、多様なニーズに対応した事業団ならではの質の高いサービスを提供します。
- ◆ 私たちは、誠意と熱意、コンプライアンス意識を高く持ち、個々の能力を最大限に発揮し、働く誇りと喜びを共にいただくことができる組織を目指します。

I 経営理念の考え方

1 事業団の設立の目的を踏まえる。

定款第3条（目的）

この法人は、都民の生涯にわたるスポーツ等の普及振興を図り、もって、都民の文化的生活の向上に寄与することを目的とする。

2 ミッション、ビジョン、バリューを構成要素とする。

独自の「ミッション」の達成のために、「ビジョン」を実現する必要がある、ビジョン実現のためのより具体的な価値基準として「バリュー」を定める。この構成により、上記理念を作成する。

【ミッション：Mission】

使命・仕事の意義、これまでこれからも根本は変わらない事業団の永遠の使命

【ビジョン：Vision】

経営方針、方向性とゴール、理想の組織像、将来のありたい姿（自分たちの未来像）

【バリュー：Values】

行動指針、ともに働くための判断基準・行動基準、重視する価値観・あいことば

3 職員周知はもちろんのこと、広く発信することで、事業団の進むべき方向性や団体活動の核となる考え方を示す。

Ⅱ 経営理念の背景

東京都スポーツ文化事業団の活動すべての核となる概念を「経営理念」として示し、以下に示すところの「あるべき姿」を目指し、事業団ならではの「強み」を活かすことで、求められる「ニーズ」に応えていく。

もって、東京2020大会のレガシーを継承・活用させていくことはもちろんのこと、2025デフリンピックの開催を契機として、職員が一体となって、「スポーツフィールド東京」を実現させていくとともに、「国際大会をも運営できる事業団」へと成長していく。

【あるべき姿・目指すもの】

- ・都民のスポーツの普及振興の拠点
- ・都立スポーツ施設の牽引役
- ・国際大会も運営できる高いコンプライアンス・強いガバナンス

【事業団ならではの（強み）】 ←民間及び他の政策連携団体との比較

- ・公益財団法人及び政策連携団体としての高い公益性と行政感覚
- ・指定管理の実績に基づく幅広い経験と知見
- ・東京都の連携協力事業の実施による経験と知見

＜例＞＊都立スポーツ施設の戦略的活用を図るための連携促進事業（コンシェルジュ窓口・SPOPITA を活用した都立スポーツ施設の発信力強化 等）

＊スポーツを通じた国際交流事業の展開（東京国際ユース(U14)サッカー大会・ジュニアスポーツアジア交流大会 等）

＊老若男女・障害有無を問わず、幅広い層が参加できる大型・継続的イベントの実施（スポーツフェスタ・TOKYO ウォーク・シニアコミュニティ交流大会・都立特別支援学校活用促進事業 等）

- ・スポーツ現場を担う都民目線・利用者視点の熟知
- ・スポーツ施設とのネットワークおよび周辺施設・地域との連携
- ・スポーツ関係団体との信頼関係
- ・国際大会（デフリンピック）の開催

【都民及び東京都からのニーズ】

- ・スポーツを「する・見る・支える」場の提供
- ・老若男女・障害有無を問わず、誰もが参加・体験できるスポーツの機会の提供
- ・安心安全かつ変化に対応する柔軟性
- ・東京都の意向を汲み取り、形にし、実行できる企画力・実践力

【具体的な行動指針】

- ・広く信頼を得るため、全ての人に対し、公正・**誠実**に接します。
- ・**熱意**と創意工夫をもって、課題解決と業務改革に取り組みます。
- ・**コンプライアンス**を遵守し、誇りと責任感をもって行動します。
- ・知識向上と**能力開発**に積極的かつ主体的に取り組み、その能力を業務に活かします。
- ・チームワークやコミュニケーションを大切にするとともに、職場間の連携を強化することで、活力ある明るい**組織**をつくります。

